

2014-15 年度国際ロータリー
第 2760 地区
国際奉仕事業報告書



地区国際奉仕委員会

目 次

・2014-15 年度 RI テーマ (ゲイリーC.K.黄 2014-15 年度 RI 会長)	1-2
・ガバナープロフィール (2014-15 年度近藤雄亮 DG)	3
・地区方針・地区行動指針 (2014-15 年度近藤雄亮 DG)	4-7
・世界理解月間に寄せて (2014-15 年度杉浦敏夫地区国際奉仕委員長)	8
・地区内クラブ国際奉仕活動一覧表及び事業報告書	9-48
・南尾張分区 (半田 RC、東海 RC、半田南 RC、知多 RC、大府 RC)	10-14
・西尾張分区 (一宮 RC、津島 RC、尾西 RC、一宮北 RC、あま RC、一宮中央 RC)	11-12
・東尾張分区 (犬山 RC、春日井 RC、尾張旭 RC、名古屋空港 RC、瀬戸北 RC)	13-23
・西名古屋分区 (名古屋南 RC、名古屋大須 RC、名古屋丸の内 RC)	23-28
・東名古屋分区 (名古屋北 RC、名古屋名東 RC)	29-30
・東三河分区 (豊橋 RC、豊橋北 RC、田原 RC、豊橋南 RC、豊川宝飯 RC)	31-35
・西三河中分区 (岡崎 RC、岡崎南 RC、 豊田西 RC、岡崎東 RC、豊田東 RC、岡崎城南 RC)	36-44
・西三河分区 (安城 RC、西尾 RC、高浜 RC、西尾 KIRARARC)	45-48
・地区国際奉仕委員会報告	49-92
・第 1 回委員会議事録	51-52
・第 1 回国際奉仕委員長会議報告書	53-54
・第 2 回、3 回委員会議事録	55-58
・愛知奨学生基金による施設建設状況視察報告書	59-68
・第 5 回委員会議事録	69
・国際奉仕委員会卓話一覧表	70
・台湾花蓮県黎明教養院キルトセンター譲渡式報告書	71-73
・第 6 回～9 回委員会議事録	74-79
・第 2 回国際奉仕委員長会議報告書	80
・カンボジア水資源事業行程表	81
・第 2 回ワールド・ドフード・ふれ愛フェスタ人道支援事業報告	82
・トイレ、井戸設置場所一覧表及び地図	83-86
・カンボジア水資源事業報告書	87-90
・カンボジア水資源事業感謝状	91
・編集後記	92

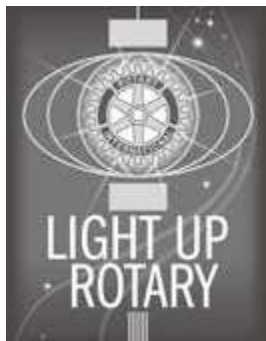
2014-15年度 R I テーマ



ゲイリー C.K. ホアン

2014-15年度国際ロータリー会長

2014-15年度 国際ロータリーのテーマ



**ロータリーに
輝きを**

強調事項

- ・地域社会でロータリーの存在感を高めること
- ・会員増強
- ・ポリオ撲滅
- ・クラブの強化
- ・ロータリーデーの実施

ロータリー歴

RI 会長 (2014-15 年度)

ロータリー財団管理委員 (2004-06 年度)

RI 副会長 (2001-02 年度)

RI 理事 (2000-01 年度)

ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、1世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。

私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくっただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華的価値観と重なるところがあるからだと思います。

ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言ってもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以上前、孔子はこう述べています：

まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。

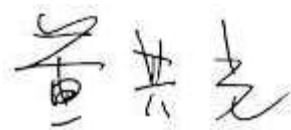
ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入りを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していく必要があります。

2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、**ロータリーを輝かせてください**。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的で興味をそそるものにするために何をできるか考えてみましょう。

さらには、ポリオを撲滅して「**ロータリーに輝きを**」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を3倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合いましょう。

2014-15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「**ロータリーに輝きを**」もたれば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。



ゲイリー C.K. ホアン
2014-15年度 国際ロータリー会長



国際ロータリー第2760地区
2014-15年度ガバナー

こんどう ゆうすけ
近藤 雄亮

生年月日 1947年（昭和22年）9月20日
所属クラブ 名古屋瑞穂ロータリークラブ
職業分類 電磁応用製品製造
勤務先・役職 三明電機株式会社 代表取締役会長
所在地 〒467-0863 名古屋市瑞穂区牛巻町 6-10

ロータリー歴

1981年10月 名古屋瑞穂ロータリークラブ入会
1991-92年 クラブ幹事
2001-02年 地区ローターアクト委員長
2002-03年 クラブ会長
2008-09年 西名古屋分区 ガバナー補佐
2012年 ガバナーノミネー
2013年 ガバナーエレクト

経歴

1970年 名古屋工業大学電気工学科 卒業
1972年 名古屋工業大学電気工学科修士課程 修了
1976年 三明電機株式会社 取締役 就任
1980年 三明電機株式会社 代表取締役社長 就任
2013年 三明電機株式会社 代表取締役会長 就任

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者





地区方針

集まろう・語ろう・楽しもう

地区行動指針

- ・行事への積極的参加
- ・多様性の再認識
- ・奉仕の理想と実践
- ・会員増強

行事への積極的参加

ロータリーの行事は色々な人達との出会いの場を提供してくれます。

ある時はその主役となり、また、ある時は黒子となって、自分を感動させるミラクルな出来事との遭遇、自分の存在感・価値観の気持ちを高揚させる為に自分を導いてくれる人との出会いなど、自分の人生哲学を形成する絶好の機会を与えてくれるのがロータリーでありますし、ロータリーの行事であります。

多様性の再認識

ロータリーの基盤の一つが多様性だと思います。クラブは1業種1人の会員で構成するというのがロータリーの始まりでありました。ロータリーの会員として選ばれた人がその業界を代表するという考え方であります。

業種・年齢・性別・宗教・思想など色々な人達の集まりであります。

色々な人がいるという事は自分が話をし、感動する出会いが沢山あるということです。

奉仕の理想と実践

ロータリーは奉仕の理想に集った職業人の集まりであります。どんな些細な事からでもよいので奉仕への気持ちの高揚をしていきたいと思えます。RIは地域社会に密着した奉仕活動を奨励しています。具体的には、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を活用して奉仕活動を進めたいと思えます。

次に、ロータリーが、ほぼ、30年に亘って夢を追い続け、もう一歩で夢が現実になろうとしているポリオ撲滅活動であります。インドでは2014年1月13日をもってポリオ終息宣言(3ヵ年発症例なし)を行いました。あと少しであります。是非関心をもって頂きたいと思えます。

もう一つは、ロータリープログラムでは極めて重要である新世代関連プログラムに関心を持ち、その意識高揚を図ることでもあります。関連する委員会の中に、財団奨学、



平和フェローシップ、米山記念奨学、青少年奉仕（インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換）などのプログラムがあります。

私は国際奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団・米山記念奨学の各委員会の縦割り組織に横串をさし、一体感を持った組織の横断的連携活動をすることによって、活発な奉仕活動を行うことができ、各クラブ、および地区の活性化に繋がり、**ロータリーに輝きを与えるもの**と信じます。地区行事としてロータリーデーを開催いたします。是非、他の委員会をよく理解して頂き、ロータリーデーを通じチームプレーができる地区になることを期待します。

会員増強

ロータリーが組織体である以上、これは永遠のテーマであります。

会員増強の中身としまして

①新入会員の確保 ② 会員の維持 ③ 会員の強化

があります。新入会員の確保については多様性を考え職業分類の未充填分野を埋める努力をしなくてはなりません。また、会員の維持・強化に関して、当地区はRLI方式の研修会や地区ロータリー研究会を熱心に行っております。

意外とロータリーについて理解されていないことが多くあると思います。

ロータリーの良いところや、今まで議論になった事をロータリーの歴史に学ぶことにより情報量が豊富になり、自分のロータリーに対する考え方に味がつき、楽しさが増し、美味しい実をつけるのであります。つまり維持・強化に繋がり、**ロータリーに輝きを与えること**になります。

私の考え方

今、ロータリーは過去どんな風だったかを歴史に学び、現在どの様になっているかを、しっかり見据え、そして将来どのように成って行くのか、あるいは、どの様にしていくのかを考える大事な変化点にあります。

ポール・ハリスの言葉

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、私たちは常に進化し、時には革命的にならなければなりません」

これは地球上生物の進化の過程において突然大きな変化（突然変異）が起き、急速に高等生物へと進化していったのと同様だと思えます。

そして、RIが現在のロータリー変革期における危機感から打ち出したのがDLP，CLP，RI戦略計画、ロータリー財団の未来の夢計画であります。



RI 戦略計画

実践項目

クラブのサポートと強化
人道的奉仕の重点化と増加
公共イメージと認知度の向上
+

基本理念

中核的価値観 (奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ)

奉仕 親睦	...	これが車の両輪である	: 奉仕の理想
多様性 寛容の精神	...	これが車そのものである	: ロータリーの構成基盤
高潔性 道徳心	...	これが車の運転姿勢である	: ロータリアン
リーダーシップ 信頼	...	これが車のエンジン・推進力である	: 奉仕の実践

- ・親睦は何時どうして生まれるか : 集まって仲良く語り合い、お互いを知り合った時
- ・寛容の精神は何時どうして生まれるか : 色々経験をつみ、人の意見に対し真摯に耳を傾けることができるようになった時
- ・道徳心は何時どうして生まれるか : 社会における自分の存在意義を理解した時
- ・信頼は何時どうして生まれるか : しっかりした知識を持ち、状況判断ができその言動が相手に心底認められた時

高潔性

ロータリーの基本理念からすると高潔性はロータリアンが身につける当たり前のことである。元々ロータリーは道徳心の上に立って成り立っているものであって、法律上問題がなければ何をやっても良いというものではない。

リーダーシップ

過去を知り現在の状況判断がしっかり出来、未来を見据え自分のやる気を言葉に表し、行動で見せ皆から如何に共感を得るかということである。これはお互いの強い信頼関係の上に成り立つものである。



ロータリー財団の未来の夢計画

ロータリー財団の未来の夢計画は“財団は私たちのもの”ということを強調しているものであります。ロータリー財団をもっと理解し、奉仕の理想の実現の為に大いに活用しましょう。ロータリー財団への寄付やロータリー財団の資金活用に対して、目標を立て実現することによりロータリーに輝きを与えましょう。

私の思い

ロータリーには元々大きな柱が2本あった。

1：出席

2：一業種一人の会員制

これがロータリーに於ける不易流行の不易の部分だと私は思っています。

火山がその後の環境変化によって人が見える部分が如何に形を変えようとも、地下深くエネルギーを蓄えているマグマは地下を脈々と流れる煮えたぎった溶岩流となり人の見えるところで新しい形のものを創造する。地下を流れるロータリーエネルギーが、その時々に出くわす環境によって新しい形のものを作るが、このエネルギーの元は決して変わることはないものだとは私は信じます。

もう一度 1960 年代に起こったロータリーマグマ活動が、再度力強く活動をし熱き溶岩流が流れ多様な模様を作り出すことを切望します。

地区会員全員熱くなり、ロータリーに輝きを与えましょう。

I believe that Gentleness from Loneliness and Sympathy must be brought, in other words Fellowship from Loneliness and the Ideal of Service must be sprang in our heart.

寂しさから優しさが生まれ、そして思いやりが育まれる。言い換えれば、寂しさから親睦・友情が生まれ、そして奉仕の理想が湧き上がると信じます。

Let's get together , talk together face to face and enjoy Rotary

さあ集まろう 語ろう そして楽しもう



「世界理解月間」に寄せて

地区国際奉仕委員長 杉浦 敏夫

1905年2月23日はロータリー創始者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合をもった日です。この2月を特別月間として世界理解月間に指定されています。同月間中、クラブは世界平和に不可欠なものとして理解と親善を特に強調するクラブ・プログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されています。1992年規定審議会は、2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。



2760地区の国際奉仕委員会では、2015年2月と3月に世界理解月間と識字率向上月間に卓話を実施させていただきます。当地区31のクラブから卓話のご依頼を頂きました。世界の識字問題、地区国際奉仕委員会の平和への理解と親善にどう取り組んできたのかをお話しさせていただきます。

識字問題ではいかに多くの人々が教育を受けられなくて、読み書きができなく、不利益なあつかい又、生活を送っているのを想像してみてください。自分の国にいるにも拘らず文字が読めない事により収入も低く、不利な仕事しかできないでいます。当然、収入が低ければ家族は貧困に陥ります。それにより紛争も起きます。ますます生活は厳しい状況に陥り、負のスパイラルに入ってしまうです。

昨年、若干17才でノーベル平和賞を受賞されましたパキスタン人のマララ・ユスフザイさんは2012年10月9日、女性の教育の必要性を否定している反政府武装勢力パキスタン・タリバンからスクールバス内で至近距離から銃撃をされ、6日間の昏睡状態から奇跡的に生還を成し遂げ、9ヶ月後の2013年7月12日に国連に於いて子女教育の必要性を訴えました。

世界の飢餓、貧困、紛争の起因は識字の低さもこれらの原因の一つではないかと思えます。識字率が向上していけば解決の道は開かれていくと思えます。私達一人一人の力は小さなものですが、ロータリークラブという組織を活用して大きな力をもって問題解決する事ができるのではないのでしょうか。

単クラブ世界社会奉仕活動一覧表

2016年5月13日 現在

クラブ名	委員長名	関係国	事業内容	事業費	内クラブ負担	協力団体	姉妹・友好RC	地区一任	入金一覧
南尾張分区（鈴木）	半田 朝倉 湧一								
	常滑 清水 昭博	タイ	社会奉仕・青少年育成事業		200,000	パタヤRC(タイ)			
	東海 久野 仁生	タイ	水浄化支援	600,000	600,000		ウットラジットRC(タイ) ビチャイRC(タイ)	100,000	100,000
							シラアサナRC(タイ)		
		フィリピン	給食援助・奨学金事業	400,000	400,000		カルカンノースRC(フィリピン) パサイミアRC(フィリピン)		
	東知多 新美 義博								
	半田南 杉浦 豊幸	タイ	リサイクル自転車支援	150,000		バンコクスリウオンRC			
西尾張分区（木村）	知多 山口 清文	タイ	教育支援・農業自立支援協力			ランブーンRC(タイ)			
	大府 相羽 英人		感動のある奉仕プロジェクトに参加						
	一宮 一宮 山上 哲司	ネパール	未就学児童就学支援・学校建設募金	100,000	100,000	さいたまユネスコ協会			
	津島 後藤 務		7月の祭りに来日、4月の周年に訪台				台北滬尾RC(台湾)	100,000	100,000
	尾西 前田 正和						水里RC(台湾)		
	一宮北 石黒 三雄								
	稲沢 小島 洋一								
東尾張分区（山田・峠）	あま 横井 久雄	モンゴル	ウランバートル59番学校支援	1,200,000	600,000	フレーRC(モンゴル)	汐止RC(台湾)		
	名古屋清洲 池戸 賢治		互いの周年、主要行事に参加				永和RC(台湾)		50,000
	尾張中央 辻 光範								
	一宮中央 岩田 真周	カンボジア	教育設備支援			JST			
	瀬戸 小沢 英之	アジア圏	子ども支援			NGO、大使館等	ヨンジュRC(韓国)		
	犬山 原 正男	台湾	B・Gスカウト、台湾童子軍交流	500,000	500,000	犬山、扶桑B&Gスカウト	草屯RC(台湾) アシュモアRC(オーストラリア)		
	江南 富田 清孝		姉妹クラブ共に50周年の相互訪問				潮州RC(台湾)		
西名古屋分区（高山）	小牧 松尾憲二郎	オーストラリア	ソロモン諸島ギンギン病院にソーラシステム設置及び教育支援	110,000USD	0	カランドラRC(RID9600)	カランドラRC(RID9600)		
	春日井 加藤 宗生	フィリピン	あしなが事業				サンマルカリーノマニラRC(フィリピン) ケローナRC(カナダ)		33,000
	尾張旭 山田 直樹	国内重点	市内在住外国人との交流又は支援				伊那RC継続中	50,000	
	名古屋空港 竹尾 悟	フィリピン	マカティ大学基金の継続				マカティウエストRC(フィリピン)		
	瀬戸北 伊藤 京子	市内在住外国人	日本語スピーチコンテスト		200,000		マカティウエストRC(フィリピン) チャンパークチェンマイRC(タイ)		
	岩倉 長谷川義夫						バンクーバーアビュタスRC(カナダ)		
	名古屋城北 津坂 守英	台湾	仁愛RC共同事業検討中			北斗RC(台湾)	クローンウエストRC(香港)	0	
東名古屋分区（横田・坂倉）	愛知長久手 赤塚 一三	なし				台北仁愛RC(台湾)	台北仁愛RC(台湾)	不明	
	愛知Eクラブ							30,000	30,000
	名古屋 正木 利和						Los AngelesRC(USA) Ciudad De Mexico D.F.RC(メキシコ)	200,000	200,000
	名古屋西 水野 隆二						Sydney N.S.W.RC(オーストラリア)		
	名古屋南 ※木村 樹生	コンボ	G補助金にて3小学校へ水環境改善事業	35,000USD	1,000USD	ワイキキRC(USA)	サンパウロ南RC(ブラジル)	50,000	50,000
	名古屋みなと 田島 伸也	発展途上国				コナサンライズRC(RID5000)	コナサンライズRC(USA)	30,000	30,000
	名古屋東南 小玉 秀男	ネパール	職業訓練事業支援	630,953	300,000			50,000	50,000
東三河分区（岡部）	名古屋中 立松 洋司								
	名古屋瑞穂 湯澤 信雄	台湾	短期ホームステイ		未定	台北延平RC	台北延平RC(台湾)		
	名古屋大須 酒井 修	世界各国	旧交換留学生、米山小学生の現況調査	未定	未定		ウッディンビル(USA)	50,000	50,000
	名古屋栄 大嶋 秀紀							100,000	100,000
	名古屋名南 三浦 隆	台湾		100,000	100,000	台北ミレミアムRC	台北ミレミアムRC(台湾)	30,000	30,000
	名古屋名東 藤井 園隆						ハワイホノルルサンセットRC(USA)		
	名古屋丸の内 磯部 徹	カンボジア	小中学校建設、医療関係援助	1,500,000	1,000,000	ブノンベン医師			
西三河中分区（本間）	中部名古屋みらい 寺澤 君江								
	名古屋北 森實 敏彦						西北RC(台湾)	100,000	100,000
	名古屋東 岡本 光生	インド	グローバル補助金ブネー地区奨学生向け「E-タレット」活用教育支援	6,000,000	0	NPO明日の会・カラヤニナガルRC			
	名古屋守山 重富 亮						ブノンベンRC(カンボジア)	100,000	100,000
	名古屋和合 ※坂倉 弘康	カンボジア	学生ホームステイプログラム検討中	200,000	200,000	王立ブノンベン大学日本語学科		100,000	100,000
	名古屋名東 加藤 令	インドネシア	バリ・ラマンにて水プロジェクト	150,000	150,000	バリタマンRC	SOUL普信閣RC		
	名古屋名北 杉浦 定文							50,000	50,000
西三河中分区（堀江）	名古屋千種 池森 由幸								50,000
	名古屋昭和 上野 広	バングラデッシュ	識字率向上及びインフラ整備(学校及び設備)			Dhaka Mahanagar RC			
	名古屋錦 佐藤 隆	韓国	初期段階の交流を開始				アミRC(韓国)		
	名古屋東山 山城 章治								50,000
	名古屋葵 吉村 剛信							30,000	30,000
	名古屋アイリス 綿貫 達雄								
	豊橋 石川 昌義	タイ	山岳民族教育支援	600,000	300,000	ベンジャミリRC(タイ)	ベンジャミリRC(タイ)		
西三河中分区（本間）	蒲郡 横井 慎二	カンボジア	未定				基隆南RC(台湾)		
	豊橋北 天川 泰一								2or3月
	豊川 石川 ひかる	台湾/韓国					岡山RC(台湾)	大邱達西RC(韓国)	
	田原 宮崎 三佳	ベトナム	口唇口蓋裂治療の医療支援	未定		なし			
	豊橋南 石川 昌司	韓国	韓国慶尚大学短期研修生2名の受け入れ事業	200,000	200,000	個人			
	新城 原田 幹也	韓国	中学生交流事業			慶北大学校師範大学附設中学校	大邱領南RC(韓国)		
	渥美 西郷 宏隆								
西三河中分区（堀江）	奥三河 伊藤 武								
	豊川宝飯 土井 昌司	台湾	相互訪問			台中松竹RC	台中松竹RC(台湾)		
	豊橋ゴールデン 平野 貴久								
	田原パシフィック 辻 義郎				未定	たはら国際交流協会			
	豊橋東 角谷 歩		海外で支援活動をしている日本人の援助					50,000	20,000
	岡崎 有賀 健	アメリカ	ユタ州アルバリス小学校交換事業	600,000	600,000	愛教大付属岡崎小学校		100,000	100,000
	豊田 杉浦 秀明								
西三河中分区（堀江）	岡崎南 杉浦 彰	韓国・台湾	ナザレ園への援助、国際交流	0	0		台北大同RC(台湾)		
	豊田西 島田 紀彦	国内	在日外国人向け「豊田西RC文庫」	320,000	320,000	NPO法人トルシード	ミッドシティRC(スリランカ)		
	岡崎東 生駒 尚久	カンボジア	教育支援事業	30,000	30,000				
	豊田東 平野 恒弘	ミャンマー	小中学校へ文房具、ソーラーランタン寄贈	60,000	60,000				
	岡崎城南 松野 敏	ミャンマー	図書資料など人道支援検討中(16回目)	2,200,000	600,000	奨学会「KIBOH」			
	豊田三好 堀川 泰						コロンバスRC(USA)		
	豊田中 中垣 幸春								
西三河中分区（堀江）	刈谷 鈴木丈三郎						ミササガRC(カナダ)		100,000
	安城 成田 孝則	ミャンマー	子供たちへの日本語教育支援	200,000	200,000	米山奨学生			
	西尾 柴田 高広	フィリピン	マングローブの再生(新地区補助金)	未定					
	碧南 鈴木 宏枝								50,000
	西尾一色 島居 萬里						サンリアンドロRC(USA)		
	高浜 中村 さと子	タイ	HIV感染者の児童収容施設への支援		50,000				
	知立 小柳 寿志	ブラジル	サンパウロ国際大会への積極的参加				ウインダムRC(オーストラリア)		
西尾KIRARA	野口 要二								
	三河安城 小野 郁								
※地区委員と兼務、網掛けクラブは未提出								地区PJ一任金額	1,320,000 1,573,000

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 南尾張分区 半田 R C

事 業 名 : 青少年健全育成のための新美南吉啓発事業

事 業 対 象 国 : ブータン王国 パロ県

会 長 名 : 青井 雅純

国際奉仕委員長名 : 朝倉 滉一

予 算 規 模 : 220,000円

事 業 内 容 :

半田市および半田市近隣の児童生徒達が慣れ親しんだ童話作家新美南吉
を外国の子ども達にも広めるため、南吉童話の英訳絵本3種類100冊を
親日国であるブータン王国のパロ県の小中学校へ寄贈した。

また、今年度は地区補助金を利用し、青少年奉仕委員会と共同で半田市
近隣の小中学校にも新美南吉英訳絵本を英語教材として寄贈した。

ブータン王国に寄贈した英訳絵本は以下のとおりです。

・英訳絵本N o 1 「でんでんむしのかなしみ・赤いろうそく・天国」 33冊

・英訳絵本N o 2 「牛をつないだ樅の木・木のまつり」 33冊

・英訳絵本N o 3 「手袋をかいに・子どもの好きな神様」 34冊

以上 合計100冊

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 南尾張分区 東海RC

事 業 名 : 国際奉仕支援プロジェクト

事 業 対 象 国 : タイ ・ フィリピン

会 長 名 : 小嶋 真一郎

国際奉仕委員長名 : 久野 仁生

予 算 規 模 : 1,000,000円

事 業 内 容 :

- ・タイ支援プロジェクト

現地住民の集会所施設等への支援プロジェクト

3360 地区の 3RC と共同事業

シラ・アサナRC、ウッタラディットRC、ピッチャイRC

- ・フィリピン支援プロジェクト

3800 地区 カルーカン・ノースRC

青少年への奨学金支援プロジェクト

3810 地区 パサイ・ミヤRC

子供たちへの給食支援プロジェクト



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 南尾張分区 半田南 R C

事 業 名 : リサイクル自転車プログラム

事 業 対 象 国 : タ イ

会 長 名 : 榑原 肇

国際奉仕委員長名 : 杉浦 豊幸

予 算 規 模 : 150,000円

事 業 内 容 : ナコンサワン県 スワンクラ中学校にて開催されたり

サイクル自転車の贈呈式に参加。過去 13 年間に累計 4 万台の日本の放置自
転車をタイに送り、整備を済ませた後、生徒に貸与する事業です。

半田南ロータリークラブか
らは 2003－2004 年度を初
年度とし、今年度で 4 回の
支援となります。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 南尾張分区 知多 R C

事 業 名 : 「例会に一杯のコーヒーを」 ルナルン(暁)プロジェクト

事 業 対 象 国 : タイ国

会 長 名 : 永井 喜義

国際奉仕委員長名 : 山口 清文

予 算 規 模 : 200,000円 (国際奉仕全予算)

事業内容 : タイ北部にて生徒寮「あかつきの家」を運営している中野 穂積さん。寮の運営費と新たな収入源確保のため、コーヒー豆を育てています。例会でそのコーヒー豆をフェアトレードで購入し飲むことにより、中野さんを支援しています。また募金箱を設置し現地まで集まったお金を届けております。

「あかつきの家」寮母の中野穂積さんのクラブ招待を計画していた所、本人の来日情報を得たのでクラブ例会に招待。会員との交流、卓話をしていただきました。国際奉仕委員会より金一封、例会出席会員より寸志を手渡しました。

第 1178 回例会卓話(2014 年 9 月 29 日(月))ルナルン暁の家寮母 中野 穂積様



タイ山岳民族の青少年への教育支援を目的として設立。山岳民族の中高生たちが生徒寮「暁の家」で寮生活を送りながら異文化の共生と自立のための教育を受ける。寮の運



営は日本およびタイの賛同者からの寄付 9 割と子どもたちが負担する寮費 1 割でまかなわれている。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 南尾張分区 大府 R C

事 業 名 : モンゴルをみてみよう

事 業 対 象 国 : モンゴル

会 長 名 : 木村 正嗣

国際奉仕委員長名 : 相羽 英人

予 算 規 模 : _____

事 業 内 容 : 本年度は米山奨学生の世話クラブとしてモンゴルから
の留学生をお世話いたしました。一年間の内にカウンセラーのお人柄もあり大
変親しくなる事が出来ました。そして、留学生のエスコートで本物のモンゴル
を見てみようではないかとの機運が盛り上がり有志5名で7月31日から3泊
4日で成田からの直行便で訪問する事となった。普通のツアーでは味わえない
本物のモンゴルを思いっきり感じたいと思っています。あわせて現地のロー
タリークラブとの交流も行い次年度以降の単独でのWCS事業へと繋がればな
あと願っています。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西尾張分区 一宮 R C

事 業 名 : 未就学児童就学支援と学校建設資金募金

事 業 対 象 国 : ネパール

会 長 名 : 磯部 茂

国際奉仕委員長名 : 山上 哲司

予 算 規 模 : 100,000円

事 業 内 容 : さいたまユネスコ協会を通じてネパール未就学児童を支援し識字率向上に役立てる。

毎年、子供たちから近況報告と感謝の手紙が届き、例会で披露して、
会員にも学校建設資金募金を呼びかける。

Saitama UNESCO Association

2014年度 ネパールの 生徒からの手紙

生徒コード 5613

2014年7月29日

親愛なる奨学金支援者 様

こんにちは。

私はこちらで元気に過ごしています。あなたもお元気でいらっしやると嬉しいです。

私の村はたくさんの方に囲まれていて、とても美しい村です。

あなたの奨学金でペンとノート、洋服などを買いました。ご支援くださって、ありがとうございます。

あなたの国で地震があったこと、その地震でたくさんの方々が家を破壊され、多くの方が亡くなったと聞き、とても悲しくなりました。私の美しい村にいつでも来てください。

写真は私の先生と私で、彼が私に勉強道具を授与しているところです。

あなたの娘より

生徒名 バマ ジェンディ より
学年(class) 7年生

・生徒の学校名	バルビカシ初等中学校
・翻訳ボランティア氏名	尾上 和沙
〔戻しければご記入ください。カタカナでも可〕	

※ 小学校 5年間・初等中学校 3年間・高等中学校 2年間・高等学校 2年間
※ 西暦2011年～西暦2014年



Saitama UNESCO Association

2014年度 ネパールの 生徒からの手紙

生徒コード 3710

イチノミヤ ロータリークラブ様

心を込めて。
ナマステー（こんにちは）。

神のご加護とあなたからの恵みのおかげで、私は元気です。あなたも同じでありますように。

経済的支援とあなたのご慈悲にとても感謝しています。私はサバナ・ディスワといいます。6年生です。私の家庭環境はとても貧しいです。あなたのご支援があるから、私は勉強を続けることができます。どうか皆さんご家族に、くれぐれもよろしくお願ひします。支援をいただいたことは一生忘れません。私は5人家族です。

皆さん、どうもありがとうございます。ナマステ！

生徒名 サバナ ディスワ より
学年(class) 6 年生

・生徒の学校名	ダライタンティ高等学校
・翻訳ボランティア氏名	ナガタ メグミ
〔戻しければご記入ください。カタカナでも可〕	

※ 小学校 5年間・初等中学校 3年間・高等中学校 2年間・高等学校 2年間
合計12年制により、学年の呼び方は1学年～12学年となります。
※ ネパール暦2071年～西暦2014年



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西尾張分区 津島 R C

事 業 名 : 姉妹クラブ交流

事 業 対 象 国 : 台湾

会 長 名 : 安江 正博

国際奉仕委員長名 : 後藤 務

予 算 規 模 : 委員会全体¥1,200,000 (姉妹クラブ訪問¥300,000)

事 業 内 容 : 津島 R C では過去より台湾のクラブと友好を結び、非常に良い関係ができています。7 月には地域で 500 年以上続き、ユネ

タイペイフーエイ
スコ世界無形文化遺産に推挙されている「尾張津島天王祭」に台北滬尾 R C の

会員と家族 18 名を招待して楽しんでいただきました。また、毎年 4 月の台北滬

尾 R C の周年記念例会に、津島 R C の会員が 10 名以上出席しています。

W C S については、地区一括でお願いしています。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西尾張分区 尾西 R C

事 業 名 : 交流事業 (水里ロータリークラブ)

事 業 対 象 国 : 台湾

会 長 名 : 加藤 博行

国際奉仕委員長名 : 奉仕プロジェクト委員長 安藤 巖

予 算 規 模 : 370,000円

事 業 内 容 : 尾西ロータリークラブが台湾・水里ロータリークラブと



交流を始め 36 年になります。昨年、締結のため水里 RC に伺ったところ本年度水里 RC 会長 許素恵さんより「主人が会長の年、締結 10 周年を記念して植樹をしました。それがどの位に育っているのか見てみたい。」とのお話があり、その後、2014 年 11 月 10 日

に一宮(旧尾西市)をご来訪されました。

尾西公園で植樹した木を見学して頂いた後、市内をご案内し、夕方より交流会を開きました。植樹見学も喜んで頂き、交流会ではお互いの情



報 交 換

などで大変盛り上がりました。長い年月を重ね、新しい方もいらっしゃいますが、よく知った顔も多く、互いに会員や会員家族、クラブや国(地域)に思いを寄せ、共に歩んできた道のりを振り返り暖かい気持ちになった交流でした。今後も、この交流が良いたちで永く続く事を願っています。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西尾張分区 一宮北RC

事 業 名 : 姉妹提携クラブ ペナンロータリークラブ

事 業 対 象 国 : マレーシア ペナン

会 長 名 : 渡辺 元男

国際奉仕委員長名 : 石黒 三雄

予 算 規 模 : 50,000円

事 業 内 容 : 提携ロータリークラブとは、以前は親密にしていまし

たが最近はあまり活動していません。

今年度に提携ロータリークラブより当クラブに数人の方が訪問したいと連絡

がありました。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西尾張分区 あまRC

事 業 名 : ウランバートル 59 番学校教室整備と教育支援

事 業 対 象 国 : モンゴル

会 長 名 : 栗木 和夫

国際奉仕委員長名 : 横井 久雄

予 算 規 模 : 120万円



事 業 内 容 :

1. 勉強室が不足しているため、未使用の部屋を教室に転用するための内装工事材料の提供。

1. 水道工事
2. 天井・床材料の提供
3. 出入り口の作成・ドア設置
4. 断熱材、暖房器具の設置



2. 教材一式購入支援

1. 女子生徒用
美容セット、ミシン&テーブル、その他
2. 男子生徒用
大工セット、羊毛刈り機他
3. 楽器購入支援
拳琴、ハープ、ホーチル、
ハーモニカ他
4. 学習道具、手引き書
ハンドブック、ユニマット、色鉛筆他



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西尾張分区 一宮中央R C

事 業 名 : カンボジア教育設備と支 援

事 業 対 象 国 : カンボジア

会 長 名 : 松岡 正浩

国際奉仕委員長名 : 岩田 真周

予 算 規 模 : 800,000円

事 業 内 容 : シュリムアップ州でも学
校の整備・授業環境のままな

らない地域へ訪問し小中教員学生にノートと
ボールペンをロータリアンが1人1人手渡し



文具の配布

で配りました。
また、新設された
中学校の調理場付
キヨスクスペース
を修繕し、整った
炊事場を利用して、
食事もままならな
い学生にロータリアンが持参した食材でカレー
を作りパンとともに配膳し教職員も一緒に
食べました。



カレーでおもてなし



修繕した給食場

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東尾張分区 犬山RC

事 業 名 : WCS事業 草刈機寄贈

事 業 対 象 国 : 台 湾

会 長 名 : 近藤 斉宏

国際奉仕委員長名: 原 正男

予 算 規 模 : 100,000円

事 業 内 容 : 両国相互理解の発展に寄与する事業として姉妹提携クラブ草屯扶輪社と
共同で着座式草刈機を南投縣北投國民小学校に寄贈



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東尾張分区 春日井 R C

事 業 名 : あしながおじさんプログラム

事 業 対 象 国 : フィリピン国

会 長 名 : 加藤 久仁明

国際奉仕委員長名 : 加藤 宗生

予 算 規 模 : 240,000円



事 業 内 容 : フィリピン国セブ島、女子中学生に奨学金を贈る事業

フィリピン国は、一家族に子供が多く、女子の教育に力を入れていない。

3 年前から、春日井ロータリークラブ単独で、セブ島の女子中学生に教育資金を奨学金として援助しています。この事業はクラブの資金を使うのでは無く、メンバーのポケットマネーで、一人



¥30,000 円を出せば、1 年間の教育資金に成るので奨学金として援助しています。

初年度 8 人、2 年目 9 人、今年度 8 人に一人 2 年間、援助をする事業です。今年もその人選に 8 人のメンバーで行って来ました。ロータリークラブの原点 : I Service を実践しています。2 回目からはセブロータリーク

ラブと友好クラブを結び通訳等でお手伝いをして頂いております。今後も継続で行っていきます。奨学金を受けた生徒からは毎年 2 回、現況報告の手紙が送られて来て、訳して、ウィークリーに掲載していますので、是非ご覧ください。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東尾張分区 尾張旭 R C

事 業 名 : 尾張旭市に住む外国人の本音を知ろう

事 業 対 象 国 : ウクライナ

会 長 名 : 古橋 裕志

国際奉仕委員長名 : 山田 直樹

予 算 規 模 : 60,000円

事 業 内 容 : ウクライナ人女性の日本および日本人に対する意見印象
を聞いて理解を深めた。ウクライナの厳しい現状も知ることができた。今
後もお互いの国を理解しあえる機会を作ることを提案した。彼女が通う日本語
教室に文房具を贈った。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東尾張分区 名古屋空港 RC

事 業 名 : マカティ大学奨学金基金財団

事 業 対 象 国 : フィリピン

会 長 名 : 栗田 和典

国際奉仕委員長名 : 竹尾 悟

予 算 規 模 : 150,000円

事 業 内 容 : 1992年4月設立

4. 過去5年間の支給状況

・マカティ大学の奨学生は、アナリザ・アーセガ教授率いるマカティ奨学生協会 (MACES) によって一次選考されます。次に協会は、選考された生徒を面接します。過去数年、選考委員会は、教育者であるマカティ RC の会員や家族がなっています。

・奨学生が選考されると、その学生は、マカティ大学のロータリーアクトのメンバーになることになります。マカティ大学のロータリーアクトは、マカティウエスト RC によって創設され、奨学生は、しばしばロータリーアクトの役員になります。ロータリーアクトクラブの高い学業水準を満たないと、ロータリーアクトクラブから排除され、名古屋空港 RC 奨学生からはずされます。

・会長によって作られた委員会は、外された奨学生や、大学を卒業した奨学生の代わりを選考します。会員や夫人はこの委員会にメンバーになるために教育を受けていました。通常、奨学生は、マカティ大学の一年生の時に選考され、学業成績が高い水準を満たせば、卒業まで4年間毎月奨学金が支給されます。

・マカティ大学のロータリーアクトクラブは、マカティウエスト RC からその活動資金を十分援助されています。名古屋空港奨学金制度は唯一の奨学金制度です。マカティウエスト RC は、ロータリーアクトクラブの活動のために、会員からの援助を使っています。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東尾張分区 瀬戸北RC

事 業 名 : NIHONGO スピーチコンテスト

事 業 対 象 国 : 多数国

会 長 名 : 小澤 修

予 算 規 模 : 200,000円

事 業 内 容 : 今年で7回目を迎えた NIHONGO スピーチコンテストに
今年度も共催し継続事業として1月25日（日）に瀬戸蔵つばきホールで開催
致しました。今回は11の国と地域の18名の出場者と250名の来場者があ
り、成功裏に終了する事ができました。

当クラブは例会行事として参加、またロータリーデーを並行して開催し一般
の方々にロータリー活動について紹介できるよい機会となりました。

会報「別添」においてご報告致します。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西名古屋分区 名古屋南 R C

事 業 名 : グローバル補助金を利用したコソボの小学校支援

事 業 対 象 国 : コソボ共和国

会 長 名 : 粕谷 忠晴

国際奉仕委員長名 : 木村 樹生

予 算 規 模 : \$ 7 2 , 8 2 5

事 業 内 容 : 東欧の新国家コソボ共和国の小学校にWASH（水道（Water）、衛生設備（Sanitation）及び公衆衛生教育（Hygiene Education）を提供する。

現在、およそ300の村で学校のWASH（水道・トイレ・衛生教育）が不十分であり、そのうち68の村には水道もトイレ設備も全くない。そのためコソボの68の村では多くの女兒が小学校に通うことができていない。

そこでコソボにあるプリシュティナ・ロータリークラブ（Rotary Club of Prishtina International（“RCPI,” D53）をホストクラブとし姉妹提携RCであるコナサンライズRC（米国ハワイ州）（Rotary Club of Kona Sunrise（D5000）とともに支援をする。支援先は8つの小学校。グローバル補助金、D-2760DDF、D-5000DDF当RCを含む10のロータリークラブが支援を表明。\$ 7 2 , 8 2 5の予算で臨む。

この事業によりコソボの村の小学校の水と衛生の整備。女兒に教育を受ける権利の向上を継続的に目指します。これらによりコソボにおける識字率向上にもつながると思われる。当事業はグローバル補助金を使用するため5年間は経過報告を確認していく。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西名古屋 分区 名古屋大須 R C

事 業 名 : 元奨学生・元青少年交換留学生現況調査

事 業 対 象 国 : 中華人民共和国、イタリア、USA、カナダ、オーストラリア

会 長 名 : 高木 政義

国際奉仕委員長名 : 酒井 修

予 算 規 模 : _____

事 業 内 容 : 元奨学生・元青少年交換留学生現況アンケート調査

元米山奨学生 中華人民共和国 3名

元ロータリー国際親善奨学生 イタリア 1名

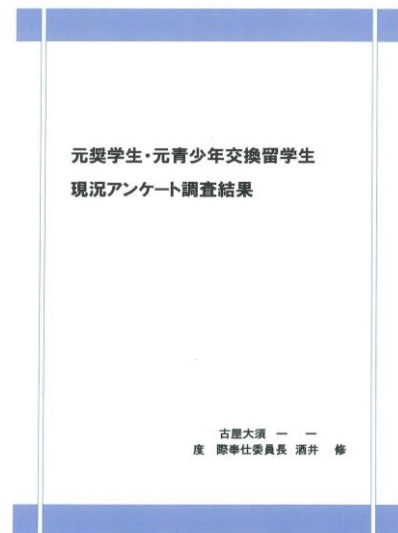
元青少年交換留学生 USA 5名、カナダ 2名、オーストラリア 1名

以上12名の方より回答を頂き、A4版16ページに調査結果を纏めさせて頂きました。尚、お名前内容等全てが個人情報になりますので表紙のみ添付させて頂きます。一部支障のない範囲のメッセージを紹介します。

1年間派遣させて頂き海外に興味を持ち大学でも英語を勉強し日本を離れてアメリカで暮らしアメリカ人と結婚して現在に至っています、感謝しています。

交換留学生の1年間が私の人生のターニングポイントであったと確信しています、英語の運用

能力や国際的感覚、精神的な強さ、働く女性たちとの出会いがあつてこそと感じている。今は子育て中もう少し子供が大きくなったら交換留学生達との交流をもちたい。今は娘たちに振り回されている毎日です、いつかRCへ恩返しをしたい。オーストラリアからの受入交換留学生、日本人のカナダへの派遣留学生と知り合い結婚されて日本で暮らしている、現在3人の子の母。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西名古屋分区 名古屋丸の内RC

事 業 名 : チュバアンポウ村への医療と文具支援

事 業 対 象 国 : カンボジア王国

会 長 名 : 永井 克昌

国際奉仕委員長名 : 磯部 徹

予 算 規 模 : 800,000円(内地区補助金438,600円)

事業内容 : 2014 年11 月に現地を訪問し以下の活動をした。

1. 診療所への薬品配備

2. 村の小中学校への文具支援

診療所、校舎を見学し医師助手
や学校長と面談しこれから必要な
ものなどの要望を聞き話し合っ
た。

今年度不足している薬品の再配
備と、学校図書館建設に関してク
ラブに持ち帰り検討した。



中学生の教室にて



小学生に文具を手渡し



診療所の利用状況

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東名古屋分区 名古屋北 R C

事 業 名 : 姉妹提携クラブの交流

事 業 対 象 国 : 台 湾

会 長 名 : 田中 正樹

国際奉仕委員長名 : 森實 敏彦

予 算 規 模 : 100,000円

事 業 内 容 : 姉妹提携クラブである台北西北 R C の創立 54 周年チャーターナイトが 2014 年 9 月 26 日 (金) に開催され、当クラブから 5 名が参加。日本からは、世田谷 R C、茨木 R C、川越 R C、茅ヶ崎 R C、またフィリピンからも姉妹クラブが参加。200 名以上の非常に盛大な会でした。

長年にわたる友好の古さと厚さを更に深められたと実感でき、有意義な交流となりました。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東名古屋分区名古屋名東R C

事 業 名 : 水（貯水槽設置）プロジェクト

事 業 対 象 国 : インドネシア・バリ島

会 長 名 : 中村 公彦

国際奉仕 委員長名 : 加藤 令

予 算 規 模 : GGグローバル補助金100,000円

事業内容：プロジェクト完了後の運用状況確認

RI-3420地区Bali Taman Rotary Clubと進めた「水プロジェクト」（認可2013年6月～工事完2014年2月）が、2014年6月に完了しました。完了後の視察と地元での運用状況を確認（2015～2016までの3年間）すると共に、名古屋名東R CとしてBali Taman RCとの国際交流も目的としています。



2014年11月21日～25日にかけて、中村公彦会長はじめ、企画から当日のコーディネートもお世話になりました鹿養和良さん他総勢6名でお邪魔しました。

貯水タンクの視察と保健所の訪問、小学校の訪問と折り紙の寄贈などを行った結果、村の人達から、水道がなく産湯に困っていたり、子供が水汲みで学校に通えないなどが、「水と衛生」が得られ、子供の「基本教育と識字率」にもつ



ながり、とても助かっていると、感謝のお言葉と、子供達の満面の笑顔に、かえって、たくさんの元気をいただきました。また、Bali Taman Rotary Clubは、日本での福山RC他、多くの補助金プロジェクトを同時進行するなど、経験も多く、その後のフォローもしっかりしており安心しました。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東三河分区 豊橋 R C

事 業 名 : 山岳民族定住化のための教育支援

事 業 対 象 国 : タイ国 チェンライ県

会 長 名 : 富田 佳央

国際奉仕委員長名 : 石川 昌義

予 算 規 模 : 690,336円

事 業 内 容 : タイ国の山岳民族であるモン族では、焼き畑農業が

主計の主体でした。その事自体が環境問題でとなっており、当クラブでは
解決策の一つとして、他の生計の主体となり得る事業の提唱を行ってきま
した。現在では定住化が進み、かなりの数の子たちが学校へ行くことがで
きるようになっていきます。

今回は、山岳民族の児童・生徒が学ぶ学校の飲料水の水質を改善する目
的で、9つの教育施設に水質浄化設備を設置し、子供たちの教育環境を向
上させる目的で地区の補助金を使わせていただきました。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東三河分区 豊橋北 R C

事 業 名 : 「かものはしプロジェクト」との交流

事 業 対 象 国 : カンボジアとインド、タイ・ミャンマー他

会 長 名 : 鈴木 大次郎

国際奉仕委員長名 : 天川 泰一

予 算 規 模 : 50,000円

事 業 内 容 : 2015 年 5 月 19 日実施のクラブフォーラムにて、「かも

のはしプロジェクト」代表の村田早耶香氏をお招きし、「想いをかたちにする

力～カンボジアとインドでの子どもが売られる問題をなくすために～」

という演題で講演を行っていただいた。飲酒も交えた夕食時の例会であっ

たが、「知ってしまった人は取り組まなければならない」との村田氏の基本

観のもと、子どもの人身売買の実態とその解消に向けて現在まで約 10 年の

取り組みのお話には説得力があり、誰一人として私語や中座をする方もな

く、全員が実に熱心に聴き入っていた。例会終了後の「友愛の広場」も講

師を招き、引き続き大いに盛り上がった。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東三河分区 田原 R C

事 業 名 : ベトナム口唇口蓋裂医療支援事業

事 業 対 象 国 : ベトナム

会 長 名 : 鈴木 進

国際奉仕委員長名 : 宮崎 三佳

予 算 規 模 : 18万円程度

事 業 内 容 : 前年度に引き続き口唇口蓋裂治療の医療支援を行うにあたり、本年度は当クラブ会長をはじめ会員数名が、医療を



行う山本忠医師と共に、現地ベトナムを訪問し、QUAMGNAM 総合病院にて手術の現場に立ち会うことが出来ました。

子供達には「笑顔で健やかに」の願いを込めて、鯉のぼりやノート色鉛筆をプレゼントしました。

そして田原ロータリークラブは知事より感謝状を頂きました。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東三河分区 豊橋南 R C

事 業 名 : 韓国慶尚（けいしょう）大学留学生交流事業

事 業 対 象 国 : 韓 国

会 長 名 : 榊原 周造

国際奉仕委員長名 : 石川 昌司

予 算 規 模 : 270,000円

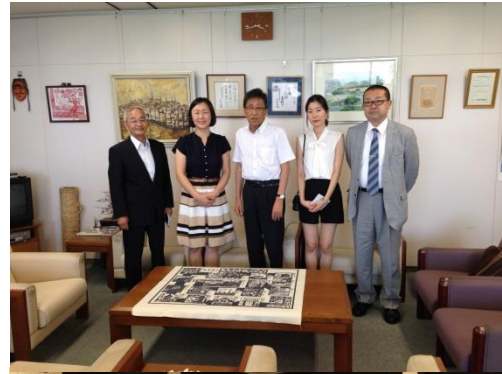
事 業 内 容 : 韓国慶尚大学生2名を豊橋へ招請した。3泊4日の行程。

滞在中は、当クラブの例会に招待し、日本と韓国の関係などについてそれぞれにスピーチをしてもらい、会員との交流を深めた。

また、豊橋市庁舎へ出向き豊橋市教育長を表敬訪問した（市長が他に所用があったため）。その他は幹事、担当委員長が同行し、近隣地区の観光をした。

豊川稲荷を訪問し祈祷を受け、また茶道も体験した。到着当日は夜に歓迎回を開き、最後の夜も有志による送別会を行った。

当クラブではこの様な試みを長い間続けてきていたが、2015－2016年度からは内容を見直す予定である。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 東三河分区 豊川宝飯R C

事 業 名 : 国際交流事業

事 業 対 象 国 : 台 湾

会 長 名 : 滝下 勲

国際奉仕委員長名 : 土井 昌司

予 算 規 模 : 200,000円

事 業 内 容 : 台湾台中松竹R Cへの訪問事業

2014年3月12日に当クラブと台湾台中松竹R Cと姉妹締結を行いました。姉妹締結後、お互いの親睦を深めるために双方の国を訪問し合い積極的に交流を図っています。

また、今回訪中しましたのは、親睦はもちろんのこと、台湾台中松竹R Cの設立18周年記念式典への出席と当クラブが2015年―16年度に創立30周年を迎えるに当たり、創立30周年記念式典を開催いたします。その式典への出席依頼もかねての訪問となりました。

今後は、国際奉仕活動を共同で展開していきたいと思います。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河中分区 岡崎 R C

事 業 名 : 愛教大附属岡崎小学校バリス校交流事業支援

事 業 対 象 国 : 米 国

会 長 名 : 天野 恵一

国際奉仕委員長名 : 有賀 健

予 算 規 模 : 600,000円

事 業 内 容 : 愛知教育大学附属岡崎小学校と、米国インディアナ

州ボールステイト大学の附属小学校であるバリス校は、国際交流と世界理解

を目的に、8年前より隔年に生徒の訪問交流を行っている。岡崎ロータリー

クラブでは当初より本交流事業に着目し、経済的支援を行ってきた。交流事

業実施後には、訪問児童 20 名を代表して 2 名の児童が、当クラブ例会におい

て卓話を行った。滞在中に、昨年度に来日したトーマス君から「将来、日本

で働きたい。」と語られるなど、この事業の成果が報告された。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河中分区 岡崎南 R C

事 業 名 : 友情交換事業

事 業 対 象 国 : 台湾

会 長 名 : 犬塚 勝昭

国際奉仕委員長名 : 杉浦 彰 ・ 松野 元基

予 算 規 模 : 0 円

事 業 内 容 : 奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを

通じて、国際理解・親善・平和を推進することが本事業の目的であります。

そこには、我がクラブの先輩方の尽力によって結ばれてきた姉妹・親善クラブ

が異国で結ばれている親善・姉妹クラブを介添えいただきながら、《友達の友

達は私の友達作戦》となる友情交換事業を計画しています。

友情交換をすることで相互理解はもとより職業人として、互いの会員が交流で

きるきっかけづくりを考えています。そのうえで、お互いの地域で奉仕すべき

候補を模索できれば協同で支援するプログラムも検討することができると考え

ています。

本年は石垣ロータリークラブ様のご紹介で台東ロータリークラブと友情交換

をさせていただきます。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河中分区 豊田西RC

事 業 名 : ①公益財団法人 豊田市国際交流協会への図書寄贈

②NPO法人 トルシーダへの支援

事 業 対 象 国 : 日本在住の外国籍者への識字支援団体

会 長 名 : 伊藤 慎一

国際奉仕委員長名 : 島田 紀彦

予 算 規 模 : 300,000円

事 業 内 容 :

①公益財団法人 豊田市国際交流協会への図書寄贈

毎週4つの日本語教室で300人もの外国籍市民に日本語学習を行う豊田市国際交流協会に活動支援として毎年10万円分(約50冊)の図書を寄贈。「豊田西ロータリー文庫」として、平成19年より開始。現在までに300冊余りを活用して頂いています。

②NPO法人 トルシーダへの支援

行政では実態調査が難しい、様々な理由により学校教育を受けていない不就学の子供に対し、不登校の解消等につながる語学教室を、少人数のスタッフと地域ボランティアの方々による補助で活動をされています。13-14年度に10万円の支援を行い、14-15年度では10万円の支援及び、10万円相当の教材を寄贈致しました。

豊田西ロータリー会員の皆様へ

平成 26 年 9 月 22 日

国際奉仕委員会 委員長 島田紀彦

本日例会にて、豊田市国際交流協会 豊田彬子理事長にご来訪頂き、図書寄贈を行わせて頂きます。

公益財団法人 豊田市国際交流協会（T I A）は、昭和 63 年に設立され平成 23 年に愛知県より公益認定を受けられ、「国際化の主役は市民である」の理念のもと、「国際交流」「国際理解教育」「多文化共生」を 3 本の柱に、諸外国との相互理解と友好親善・地域の交流活動など幅広い事業を展開され、毎週 4 つの日本語教室では 300 人もの外国籍市民が、学習されています。現在市内に 70 ヶ国余りから、約 13,000 人の外国人が住まわれています。外国人にとっても日本人にとっても住みやすい、明るい「国際」の街になる為に、その活動は有意義なもの



豊田彬子 理事長 です。

当クラブは、その活動への支援として、平成 19 年より毎年 10 万円分（約 50 冊）の図書を寄贈いたしており、現在 300 冊となっています。図書は、「日本語教材リソースコーナー」にて「豊田西ロータリー文庫」として管理され、T I Aで開催される語学教室をはじめ、ボランティアの方にも貸し出され、有効に使われています。



（写真左） 加藤美貴子事務局長 （写真右） 竹田敦子係長

TIA 事務局：豊田産業文化センター3 階

豊田西ロータリークラブより寄贈日本語教材



豊田西ロータリー会員の皆様へ

平成 27 年 2 月 2 日

国際奉仕委員会 委員長 島田紀彦

本日例会にて、NPO 法人トルシーダ 伊東浄江代表にご来訪頂き、支援金目録の贈呈を行わせて頂きます。



昨年度にて行われました支援は、活動の一つである「学校に行っていない子供の日本語教室 CSN 活動」にて 86 名が学習され、60 名の入学・編入・進学・不登校の解消等につながり、大変有意義に活用されました。



↑(伊東浄江代表)

この教室は文部科学省の委託事業として 2003 年に開始されました。様々な理由により学校教育を受けていない不就学の子供に対し、少人数のスタッフと、中京大学生・名古屋大学生・教室の修了者・地域ボラ



ンティアの方々による補助で活動をされています。

常に新規入室を受け入れる中、子供の国籍も 7ヶ国に増え、高校生相当年齢の子供も増加し 6～18 歳と年齢層が広くなり、学習レベルを揃えるのに大変苦労されています。また、行政・地域・学校からの要望により教室も 4 か所に増加する中、教室に通う事も難しい子供の送迎や交通費の補助もしています。



行政による助成金・事業委託費はあるものの、用途はそれぞれに限られます。就学児童への語学援助・大人の就労支援の為の中級日本語教室やセミナーの活動にも注力し、求められる役割は益々大きくなっています。

行政による不就学の実態調査は非常に難しく、識字の壁に悩みを抱える外国人家庭の実情は想像を超えるものです。その問題の救済に自ら取り組まれておられるトルシーダの存在は貴重であり、国際化の進む豊田市で識字の問題に取り組むことは、当クラブの行うべき国際奉仕の支援活動の一つと考えます。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河中分区 岡崎東R C

事 業 名 : カンボジア教育支援事業

事 業 対 象 国 : カンボジア

会 長 名 : 三浦 泰廣

国際奉仕委員長名 : 生駒 尚久

予 算 規 模 : 30,000円

事 業 内 容 : 米山奨学生であったコン・ティリ氏の橋渡しで、2008-09年度より始めた事業です。カンボジア・ティータゴイ小学校への支援で、最初の2年間は校舎建造への支援、3年目は浄水・水道設備の支援を行いました。3年間とも現地視察を行い、その折には、政府要人も訪れ、盛大なセレモニーを開いていただきました。立派な校舎が完成し、近隣住民も含めて直接飲むことのできる浄水・水道設備が出来上がりました。その後も備品・薬・学用品等の購入、学習コンテストの開催の支援を続けています。

本年度も引き続き、教育環境の充実・学習支援のため、教材・文房具の購入し贈呈します。

支援対象と本申請についての説明：ティータゴイ小学校には、現在約150人の生徒（1年生から6年生）が通っています。岡崎東ロータリークラブが同学校に対して支援を開始してから7年、生徒は安定的に授業を受けることができ、優等生も多く輩出しています。

今年度の補助金は、引き続き学生諸君の学習に支援するために、参考図書の実と新学年用の文房具の贈呈を1年生から5年生に対して行われる予定です。

予算執行計画：1年生から5年生120名（6年生は同小学校から卒業するため含まれない）

（Ⅰ）文房具 1.5USD（1式）×130名＝195USD（約23,400円）

（Ⅱ）参考図書（辞典、簡単な英語教科書）6,600円

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河中分区 豊田東RC

事 業 名 : ミャンマー教育支援活動

事 業 対 象 国 : ミャンマー連邦共和国

会 長 名 : 鈴木 英治

国際奉仕委員長名 : 平野 恒弘

予 算 規 模 : 60,000円

事 業 内 容 : ミャンマー連邦共和国エーヤワディ管区マウ - ピン郡
マヤンクェー村中学校へノート、鉛筆、消しゴム、ボールペン、各 400 人分
及び、現地が無電化地域であるためパナソニック製ソーラーランタン 10 個
を寄贈。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河中分区 岡崎城南 R C

事 業 名 : ミャンマー教育支援活動

事 業 対 象 国 : ミャンマー

会 長 名 : 牧野 正高

国際奉仕委員長名 : 松野 敏

予 算 規 模 : 65万

事 業 内 容 :

医科大学生に対する教育支援（本年度 2015 年 2/6～2/11 ミャンマー訪問）

当クラブは、1999 年より国際奉仕事業としてミャンマー教育支援プログラムを行っています。今回は第 16 次訪問団（7 人）を結成し、2015 年 2 月 6 日～11 日にミャンマーを訪問し、直接奨学金を授与し彼らを励ますと共に交流を深めてきました。図書館建設等の施設整備から始まったプログラムは医学生対象の奨学金制度「奨学金 KIBOH」へ切り替わり、5 年で 10 人の医師を育ててきました。



その後も「あおい奨学金」、そして 2014 年に新設した「ミャンマーきぼう奨学会」から数名の奨学生に奨学金を支給しています。又、今回の訪問では、2014 年 10 月、当クラブ会員家族が、一般社団法人日本国際協力センター事業「ミャンマー訪日団」のホストファミリーとして受け入れた大学生と再会を果たし交流を深めました。

さらに、10 年前に KIBOH 図書館を寄贈してヤンゴンの北ダゴン第 3 高校を視察、寄付に行ってきました。「ミャンマー きぼう奨学会」この新しい奨学会は、岡崎城南ロータリークラブが主体として行動してきた今までの奨学会から、一步進んだ形での奨学会であり、運営の主体はミャンマー人自身が行い、現地のミャンマー人の支援、一般の日本人の支援、加えて岡崎城南ロータリークラブの支援からの成り立つものであり、将来としてはミャンマー国内での奨学会設立を目指すものです。



クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河中分区 豊田三好 R C

事 業 名 : 緊急援助

事 業 対 象 国 : 国境なき医師団

会 長 名 : 鬼頭 伸和

国際奉仕委員長名 : 堀川 泰

予 算 規 模 : 4 万円

事 業 内 容 : エボラ出血熱緊急援助

クラブ単独国際奉仕事業報告書

クラブ名 : 西三河分区 安城RC

事業名 : ミャンマーの子供たちへの教育支援

事業対象国 : ミャンマー

会長名 : 永谷 文人

国際奉仕委員長名 : 成田 孝則

予算規模 : 20万



事業内容 : 僧院学校3校に教育支援

2014年11月15日(土)～11月18日(火)の3泊4日でミャンマー出身の米山奨学生ニーニーエイさんを含め総勢12名で訪問をした。

◇ ノースカラ寺院(孤児院)への支援活動

1. お米10Kg、生活用品 ⇒ 寺院
2. 新規教師の報酬1年分 ⇒ 教師
3. お布施 ⇒ 僧侶及び修行僧
4. 文具と日本のお菓子 ⇒ 子供たち
5. 記念植樹 ⇒ 孤児院



◇ ケイトメディ寺院(日本語教育)への支援

1. お布施 ⇒ 僧侶及び修行僧
2. 日本語の教材と漢字ドリル
⇒ 中学生程の子供たち



◇ マノラマ寺院(日本語教育)への支援

1. お布施 ⇒ 僧侶及び修行僧
2. 日本語の教材と漢字ドリル
⇒ 中学生程の子供たち



日本から来ているボランティアの女性とも交流を図る事ができた。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河分区 西尾 R C

事 業 名 : フィリピンへの奉仕活動 台風被災支援

事 業 対 象 国 : フィリピン

会 長 名 : 杉田 明弘

国際奉仕委員長名 : 柴田 高弘

予 算 規 模 : 316,000円

事 業 内 容 : 2014年10月30日から11月2日まで杉田会長、田中 PG 以下13名でフィリピンのネグロス島を訪問しました。目的は昨年の台風30号で大きな被害を受けた地域を訪問し、壊れた自然の視察とその修復のささやかなお手伝いです。

海辺の小学校では生徒たちと1,300本のマングローブの植樹をしたり、山辺の小学校では山野の保全活動を視察し、それぞれの小学校に文具や掃除道具などを支援してきました。どちらの学校もかつてのスペインの薫りのする明るく人なつっこい生徒さんや先生たちの歓迎を受け、セレモニー、フォークダンスのお披露目、手作りの美味しい昼食を頂き楽しい交流ができました。又、西ネグロス州知事にも表敬訪問ができ我々の活動に理解と感謝の言葉を頂きました。現地はお盆であり又、ハロウィンの祭中でもありましたのでバコドロ RC の夜間例会への出席もハロウィン仮装で歓迎頂きとても印象に残る例会参加となりました。

西尾 RC としては、久しぶりの国際奉仕活動でしたが、現地オイスカのスタッフの皆さんに大変お世話になりました。大半がサトウキビに依存するこのネグロス島で、新しい農業の可能性を現地の人たちと検証し、定着そして自立を促す活動は我々ロータリアンとしても職業、社会、国際の各奉仕活動と環境保全活動の在り方のヒントになると思います。

南国の雨期特有の変化の多い天候の中でしたが、我々が植えたマングローブの成長に期待し、爽やかな気持ちでバコドロの空港を飛び立ちました。

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河分区 高浜 R C

事 業 名 : エイズ撲滅支援

事 業 対 象 国 : タイ国

会 長 名 : 高桑 雄司

国際奉仕委員長名 : 中村 さと子

予 算 規 模 : 50,000円

事 業 内 容 : タイ、チェンマイのバン・ロム・サイ

クラブ単独国際奉仕事業報告書

ク ラ ブ 名 : 西三河分区 西尾 KIRARARC

事 業 名 : ① 外国人に対する交通安全教室

② 姉妹提携クラブ創立 25 周年記念例会参加

事 業 対 象 国 : ① 在住外国人 ② 韓国

会 長 名 : 後藤 利之

国際奉仕委員長名 : 野口 要二

予 算 規 模 : ① 100,000円

事 業 内 容 :

① 日本の交通ルールの周知徹底を図ると共に 交通死亡事故の減少の
一助となるべく、地域社会に住む外国人への交通安全教室を通して、
交通安全知識、交通マナー並びに法令順守の意識浸透を図るため、
交通安全教室を開催しました。

② 姉妹提携クラブの釜山五六島 RC 25 周年記念例会に参加し情報交換、
交流を図る。

2014-15 年度国際ロータリー2760 地区国際奉仕委員会

○委員会構成メンバー

委員長	杉浦 敏夫 (豊田 RC)	
副委員長	堀江 英弥 (名古屋大須 RC)	鈴木 宏司 (半田南 RC)
委員	本間 毅 (岡崎南 RC)	村瀬 秀和 (東海 RC)
	岡部 務 (名古屋北 RC)	木村 樹生 (名古屋南 RC)
	横田 徳久 (名古屋名北 RC)	山田 拓 (瀬戸 RC)
	峠 テル子 (春日井 RC)	坂倉 弘康 (名古屋和合 RC)
	高山 進 (名古屋丸の内 RC)	

○委員会スケジュール

予定者委員会	5 月 30 日「桃園」、新旧合同委員会	6 月 13 日「千とせ家伏見店」
第 1 回委員会	2014 年 7 月 9 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 1 回委員長会議	2014 年 8 月 1 日(金)15:30~19:00	名鉄グランドホテル
第 2 回委員会	2014 年 9 月 3 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 3 回委員会	2014 年 10 月 8 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 2 回ワールド・フード・ふれ愛フェスタ	2014 年 11 月 1 日(土)~3 日(月)	久屋大通公園
第 4 回委員会	2014 年 11 月 12 日(木)~15 日(土)	タイ 3500 地区
第 5 回委員会	2014 年 12 月 10 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 6 回委員会	2015 年 2 月 4 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 7 回委員会	2015 年 3 月 11 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 8 回委員会	2015 年 4 月 8 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 9 回委員会	2015 年 5 月 13 日(水)15:30~17:30	ガバナー事務所
第 2 回委員長会議	2015 年 5 月 22 日(金)15:30~19:00	名鉄グランドホテル
予定者委員会	2015 年 5 月 29 日(金)17:00~20:00	トヨタキャッスル「桃園」
第 10 回委員会 (新旧合同委員会)	2015 年 6 月 10 日 (水) 18:00~20:00	「千とせ家」

○その他事業

- ・ 2014 年 11 月 12 日(木)~15 日(土) タイ 3500 地区愛知奨学生基金活用施設視察
タイ・チェンマイ・ウトラジット (第 4 回委員会としてメンバーにて実施)
- ・ 2015 年 1 月 18 日(日)~20 日(火) グローバル補助金事業
台湾 3500 地区桃園西門クラブ (花蓮黎明教養院キルトセンター設立譲渡式)
- ・ 2015 年 5 月 16 日(土)~17 日(日)桃園西門クラブ周年例会参加
- ・ 2015 年 6 月 6 日(土)~10 日(水)第 2 回 WFF 及び地区 PJ 一任事業
カンボジア・シエムリープ地区トイレ、井戸建設及び教育支援事業
- ・ 各種地区事業、他地区委員会事業等への協力

国際奉仕委員会

○愛知奨学生基金の現状

21年前に2760地区とタイ3360地区にて500万バーツのお金を出し合い設立され毎年その金利を山岳少数民族の小学生たちにドネーションをして参りましたが、管理していたDr. スンミン氏もご高齢となり、設立時の志を引き継ぐ者もいないので施設としたいと申し入れがあり、昨年度に先ずは200万バーツほどを使い2施設を建設、本年度も引き続き地区内に建設予定です。



Watarunyikkaram School



Suksasongkro Chiang Mai School

○GG1524866「花蓮黎明教養院のキルト教室」

本年度、台湾3500地区桃園西門RC申請の標示グローバル補助金事業の贈呈式が1月21日に台湾花蓮市の黎明教養院の向陽園で行われ引き渡しをして参りました。



○第2回ワールド・フード・ふれ愛フェスタ(11/1~3)

11月1日~3日で久屋大通公園で開催されました収益金を活用し、カンボジア・シエムリープ近郊に水資源の確保と教育支援を計画中で、地区プロジェクトに一任されていますクラブからの資金及び地区委員会事業費も含め300万円程の援助ができるのではないかと計画しています。(参考写真は昨年4月の第1回WWFの援助です。)



第 1 回国際奉仕委員会議事録

日時：2014 年 7 月 9 日 15 時半

会場：ガバナー事務所

出席者：近藤ガバナー、高須地区幹事、岡村地区副幹事、磯部ガバナー補佐幹事、

杉浦委員長、堀江副委員長、岡部、板倉、山田、峠、横田、村瀬、木村、高山、本間

司会：堀江英弥

一、杉浦委員長挨拶

二、近藤ガバナー挨拶

R I は、青少年・W C S ・識字率という委員会名を無くしましたが、各単独の奉仕事業ではなく、国際奉仕という横の連携を深めるなかで、大きな枠組みでの奉仕事業の展開を目指すものである。国際奉仕委員会として更なるグローバルな人脈作りを発展して頂きたい。

三、高須地区幹事挨拶

四、岡村地区副幹事挨拶

五、磯部ガバナー補佐幹事挨拶

六、委員会メンバー自己紹介

七、議事

1、2013～2014 年度決算について <杉浦委員長>

2、第 1 回地区内クラブ国際奉仕委員長会議について <杉浦委員長>

講演 ワールドビジョンジャパン 高木克己部長

地区補助金・グローバル補助金の説明

3、W F F 実行委員会の報告 <杉浦委員長>

4、日タイ愛知奨学生基金活動施設視察について <村瀬>

11 月 12 日～15 日の日程を予定

5、各クラブ W C S 活動アンケート結果累計について

南尾張・西尾張分区担当 山田

東尾張・西名古屋分区担当 峠

東名古屋・東三河分区担当 板倉

西三河中・西三河分区担当 高山

6.、委員会役割分担について

・ 分担内容について

開催案内の作成及び、豊田R C事務局への送信・・・・鈴木宏司副委員長

a、議事録作成・・・・・・・・・・委員名簿順にて作成

b、第1回委員長会議の企画・・・・・・・・杉浦

c、第2回委員会会議の企画・・・・・・・・本間、岡部

d、最終委員会（新旧懇親会）の企画・・・・・・・・岡部、板倉

e、各クラブ報告書作成依頼及び回収

南尾張分区・・・・・・・・鈴木

西尾張分区・・・・・・・・木村

東尾張分区・・・・・・・・山田、峠

西名古屋分区・・・・・・・・高山

東名古屋分区・・・・・・・・板倉、横田

東三河分区・・・・・・・・岡部

西三河中分区・・・・・・・・本間

西三河分区・・・・・・・・堀江

g、愛知奨学生基金の視察・・・・・・・・村瀬、山田

h、WC S先の検討・・・・・・・・木村、鈴木

i、3500（台湾桃園新竹）地区との対応・・・・・・・・岡部、杉浦

j、各種会議進行役・・・・・・・・鈴木宏司副委員長

k、WF Fメイン担当者・・・・・・・・杉浦、板倉

八、講評 岡村地区副幹事

委員長会議報告

日時：2014年8月1日金曜日午後3時半より

場所：名鉄グランドホテル 11F 柏の間

出席者：近藤雄亮ガバナー、牧野克則担当ガバナー補佐、高須洋志地区幹事、岡村達人担当地区副幹事、磯部栄南尾張分区幹事、地区国際奉仕委員会メンバー及び各クラブ国際奉仕委員長 64 名

オブザーバー：地区広報委員会竜橋美久委員長、地区 IT 委員会尾本和弘委員長、地区職業研修チーム委員会福田哲三委員長、地区ロータリー財団補助金委員会櫻井繁委員長、同補助金委員会中村公彦副委員長



第1部 (15:45~16:20) 講演会

「ワールド・ビジョンの活動について」

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

マーケティング部長 高木克巳様

ワールド・ビジョンの活動は、アメリカ生まれのキリスト教宣教師ボブ・ピアスによって始められました。彼は第2次世界大戦後に混乱をきわめた中国に渡り、「すべての人々に何もかもはできなくとも、誰かに何かはできる」と考えるようになりました。中国で出会った1人の女の子の支援を始めた彼は、より多くの支援を届けるため、1950年9月、アメリカのオレゴン州で「ワールド・ビジョン」を設立。朝鮮戦争によって両親を亡くした子どもたちや、夫を亡くした女性たち、ハンセン病や結核患者に救いの手をさしのべることから始まった活動は、現在では、約100カ国で展開するまでになりました。ワールド・ビジョンは1960年代、日本でも両親を亡くした子どもたちが生活する施設などを通じて子どもたちに対する支援活動を行いました。その後、日本の経済成長と内外の海外支援に対する気運の高まりとともに、1987年10月に「ワールド・ビジョン・ジャパン」が設立され、独自の理事会を持つ支援国事務所として活動を開始しました。現在全世界に46,000人スタッフがおり、年間総予算26.7億USDを世界97カ国に支援し、410万人の子供たちにをスポンサーシップしています。ワールド・ビジョン・ジャパンは現在79名のスタッフと多くのボランティアの方々の支えにより活動をしています。昨年度は45.7億円ほどの予算規模で35ヶ国に142の事業を展開しています。昨年度のチャイルドスポンサーは53,581人でした。



第2部（16:30～17:20）補助金セミナー



地区ロータリー財団補助金委員会 櫻井繁委員長により補助金の仕組みや補助金の種類、地区補助金とグローバル補助金等、用語に合わせ使いやすい補助金についての説明を頂き、その後昨年度グローバル補助金を完成させられた名古屋東名 RC の事例を同クラブ会長であり補助金委員会

の中村公彦副委員長から説明を頂き参加者に勇気を頂いた。誠に分かり易い説明を頂きありがとうございました。

会議終了後の意見交換会



第 2 回国際奉仕委員会議事録

日時：2014 年 9 月 3 日（水） 15 時半

会場：ガバナー事務所会議室

出席者：近藤ガバナー、高須地区幹事、杉浦委員長、堀江副委員長、鈴木副委員長、本間、村瀬、岡部、木村、横田、山田、峠、高山

司会：鈴木宏司

1. 杉浦委員長挨拶

早いもので 9 月に入りました。8 月はなしだったので決めることいくつかあります。第 2 回国際奉仕委員長会議に向けての話もあります。

2. 近藤ガバナー挨拶

今日は 2 回目の国際奉仕委員会です。これまでガバナーとして 29 クラブ回りました。財団と一緒にやった国際奉仕委員長会議はよかったと思います。

3. 高須地区幹事挨拶

WCS の報告書を見ても支援事業の成果の把握が難しい。インターアクトの総会でもそういう話があった。成果がわかりやすくなるように課題にしてほしい。

4. 議題について

I. 日泰愛知奨学生基金活用施設視察について

参加者およびスケジュールの確認：10-16 杉浦、鈴木、本間、岡部、12-16 村瀬、木村、横田、12-15 高山で調整。奨学基金の生みの親でもある片山 P G お誘いしてはどうかとの声。

II. 第一回国際奉仕委員長会議について

写真の数が全然足りなかった。また、各クラブで同会議の報告がなされていない。ガバナー月信の配信にも工夫が欲しい。

III. WFF 実行委員会の報告

- (1) 三日目はジャパンロータリーデーになる。全国から 33 ガバナー、シニアリーダー 22 名が来る予定。田中作次 R I 元会長も参加予定。式典・パーティーは観光ホテルと東急ホテル予定。
- (2) 杉浦委員長：台湾 3500 地区から桃園西門クラブが来名する。30 日から 4 日。
- (3) アンコール RC が 11 月 2 日に参加。水と教育の支援。

IV. アンケート結果集計表について

全体的に順調に集まっている。詰めの作業。

担当者：南尾張・西尾張分区担当 山田
東尾張・西名古屋分区担当 峠
東名古屋・東三河分区担当 板倉
西三河中・西三河分区担当 高山

V. 本年度WC S活動について

委員長：カンボジアの水は行うが。委員会として今年も何かテーマをもってグローバル企画実施したい。アイデアがあれば出してほしい。

5. 講評と閉会の言葉 近藤ガバナー：皆さん活発な議論ありがとうございました。

グローバル補助金については本当に必要なニーズはどこにあるのかを考えていただくとよいのではと思います。

第 3 回国際奉仕委員会議事録

日時：2014 年 10 月 8 日 15 時半

会場：ガバナー事務所

出席者：牧野ガバナー補佐、岡村地区副幹事、

杉浦委員長、堀江副委員長、鈴木副委員長、岡部、山田、峠、横田、高山、坂倉

司会：鈴木宏司

一、杉浦委員長挨拶

二、牧野ガバナー補佐挨拶

地区国際奉仕委員会の活動は活発ですが、これから W F F や基金活用施設視察などがあり、本番を迎えますので頑張ってください。

三、岡村地区副幹事挨拶

講評にて挨拶

四、議事

1、愛知奨学生基金活用施設視察について <杉浦委員長>

日程と参加者の再確認

バンコクーチェンマイーウトラジットーバンコク行程について<山田委員>

渡航基本データ書類の提出依頼<山田委員>

2、台湾 3500 地区桃園西門扶輪社訪問について <杉浦委員長>

日程と懇親会参加者の確認、日本での行程を確認

10 月 31 日懇親食事会参加者：木村委員、高山委員以外 10 名

11 月 1 日懇親食事会参加者：杉浦、堀江、村瀬、本間、岡部、鈴木？

グローバル補助金申請 花蓮県教養黎明院キルト教室支援については、

来日時に打合せ確認、次回以降の委員会にて報告

3、W F F 実行委員会の報告 <杉浦委員長>

アンコール R C のブースの手伝いについて確認

日に 2～3 人が必要 (10:00～17:00) ⇒参加者を確認

11 月 1 日：杉浦、堀江、岡部、村瀬

11 月 2 日：杉浦、鈴木、村瀬、高山、峠

11 月 3 日：杉浦、鈴木、村瀬、本間、横田、坂倉、山田

※10 月 10 日 W F F 実行委員会にて、当委員会にて噴水広場のごみ箱管理が追加議題 2、3 記載氏名中、委員会欠席者分、後日確認後加筆

4、アンケート結果集計について <杉浦委員長>

現在の提出分を確認、再度依頼

今後は、実施内容を確認

5、本年度WC S活動について<杉浦委員長>

カンボジア水資源確保事業及び教育支援事業については

W F Fの結果で予算が決定 地区 P J 一任費用についての取り扱い

6、その他<杉浦委員長>

2月3月の世界理解月間、識字率向上月間卓話について、

依頼文章の確認、委員会全員卓話をする

内容はパワーポイントを利用、委員会メンバーの勉強会をする

堀江副委員長、岡部委員のもので調整、再度作成する。

五、講評 岡村地区副幹事

これから国際奉仕委員会の事業が多く負担が多いが、頑張ってください。

愛知奨学生基金による施設建設状況視察報告書

2014・15 年度第 2760 地区

国際奉仕委員長 杉浦敏夫

2014 年 11 月 12 日～15 日で委員会メンバー 9 名にて現地視察を実施しました。12 日にセントレアを出発し、台湾桃園空港経由にて Bangkok に入り、更に乗継にて Chiang mai まで移動、宿泊し、翌朝 9 時の約束にてホテルロビーで待ち合わせて施設を建設した Suksasongkro Chiang Mai School に移動、基金の理事長をして頂いている Dr.SUMIN より建設に至るいきさつや執行金額等のお話をお聞きし、その後施設の視察をしました
先ず本学は山岳少数民族の子供たちの学校であり、小学校から高校までの一貫教育で



930 名が全寮制で生活、勉学に励んでいました。施設はバレーコート 1 面程度の広さであるが、日差しを遮り風通しも良く多方面に渡り活用可能であるのではないかと判断しました。執行金額も翌日視察の Uttaradit の施設と合わせ約 200 万 Bht（総額約 500 万 Bht）ほどと報告でした。視察後学校内の視察をし、構内に日本軍の要塞施設が現在は埋め立てられており歴史遺産として復元希望を校長先生よりありました。

昼食後移動し、Uttaradit に夕方到着、Uttaradit の 4 RC 合同例会に出席をしました。翌日 9 時より Watarunyikkaram School を訪問しました。施設は Chiang Mai の施設と同じ形式ではあったが、



先に建設した事もあり広く活用されているようでした。その後、講堂に入り、先生より施設活



用状況の説明がありました。その後、Phitsanulok 空港から Bangkok に移動し、3500 地区の Buengkum RC メンバーで中村淳様と会食、協力できる事業の紹介をお願いし翌朝、一路 3500 地区台湾桃園西門 RC のグローバル補助金事業の確認へ



愛知奨学金基金による施設視察報告書

地区国際奉仕委員会

副委員長 鈴木宏司

2014 年 11 月 12 日～15 日タイ北部のチェンマイとウタラジットを訪問し、愛知奨学金基金を使って建てられた施設の現地視察を行ってきました。どちらもほぼ同じ建物で、利用方法・利用状況等の説明を受けました。暑い国であり、雨季もあるこの国において必要となる建物だと感じました。

わたしが今回訪問したチェンマイの学校「Suksasongkro Chiang Mai School」について感じたことを報告したいと思います。こちらの学校ではタイ北部に在住している山岳少数民族の子供たちを、小学 1 年生から高校まで全寮制一貫教育をしているとのことでした

わたしも過去にチェンマイ・チェンライの山岳地帯の学校を 2 度訪問したことがあります。通学に 10 キロ以上かかる子供たちに中古自転車支援に行きましたが、自転車をもらった子供たちの笑顔は忘れられないものです。またその学校で話を聞けば教員が不足していること、教材が充分でないことをいわれ、訪問したメンバーが 1,000 バーツ出し合って子供たちの机を寄贈してきた思い出があります。

校長先生の話しにもありましたが、広い地域に住んでいる少数民族の子供たちに教育を受けさせるには、学校をたくさん作ることや、たくさんの教員が必要となること等問題があります。このような学校を作ることによって多くの問題が解決されると思います。反面子供たちにとって、親元を離れ生活をするのが良いのかどうか。また高校卒業した時に故郷に帰ることができるか。10 年後 20 年後には山岳少数民族はいなくなってしまうのではないかと心配してしまいます。

教育は必要です。貧困から抜け出すにはある一定レベルの教育を受け、労働することが大切です。しかしタイ北部の文化がなくなってしまうことも問題だと感じました。

愛知奨学生基金による施設視察報告

2014・15 年度 2760 地区

国際奉仕委員 村瀬 秀和

2014 年 11 月 12 日から 15 日まで、委員 9 名でタイのチェンマイとウトラジット地区を訪問しました。かつて片山主水 PG が国際奉仕委員長だった時代に、3360 地区と 2760 地区でお金を約 1,600 万円出し合ってその利息でチェンマイ北部地区の山岳民族の子供たちのための奨学金制度を作り毎年 3 月に 100 名の子供に 1 万円を渡していたと記憶しております。



その後タイも発展してきたので 20 年を節目にその基金で 2 つの地区に多目的運動施設を造ると聞いておりました。昨年 11 月に私ども東海 RC と姉妹提携しておりますウトラジット地区の 4 つのクラブを訪問した際に現地のワタルニッカラム学園校 (Watarunyikkaram School) を訪れ愛知奨学基金で建設した多目的運動施設を視察しております。今回は多年に亘りウトラジットの学校施設に援助

をしておられる東海 RC の小嶋洋一先生と共に愛知奨学基金の理事長スンミン先生 (Dr. SUMIN) と久しぶりにお会いしました。

スンミン先生は「私も 78 歳になりました。2760 地区と 3360 地区は 20 年以上の長きに亘ってお付き合いができました。この活動を次の世代へと引き継ぎ 2760 地区と 3360 地区が大きな奉仕の架け橋になる様に」と挨拶されました。先生の病院の隣には北部の山岳少数民族の子供たちの学校スクサソクロ・チェンマイ学園 (Suksasonkro Chiang Mai School) があり、そこに運動施設がありました。その学園には 930 名程の生徒が在籍しており全寮制で生活をして



いました。

これまで熱心に奉仕活動を行ってきたスンミン先生の偉大さに心を打たれました。その後、車で 4 時間をかけてウトラジットに到着しました。現地では東海 RC 姉妹 4 クラブ合同例会に出席をし、歓迎を受けました。また東海 RC が訪問を予定している 2 月に再会をする約束をしてタイを後にしました。



日タイ愛知奨学生基金による施設建設視察報告書

2014-15 年度第 2760 地区

国際奉仕委員会 岡部務

2014 年 11 月 12 日～15 日に、委員会メンバー 9 名で現地視察に行きました。日本から空路約 6 時間半、バンコク（Bangkok）から、更に乗継いで一時間半、北部にある同国第 2 の都市チェンマイ（Chiang Mai）に到着、宿泊し、翌日 20 年ほど前に 2760 地区と 3360 地区とで創設した愛知奨学生基金による運動場多目的施設のあるスクサソングロ・チェンマイ学園校（Suksasongkro Chiang Mai School）に向かいました。同校では基金の理事長スミン先生（Dr.SUMIN）



より「当 3360 地区の代表として 2760 地区とは 20 年以上の長きに亘っておつきあいしてきました。今回はスポーツ用の施設を作ろうと考えました。ただ私も 78 歳になりましたので、次の世代に引き継ごうと思います。今後も 3360 地区と 2760 地区の奉仕の架け橋をもっと大きくしてゆきましょう」とのお話をいただきました。その後、施設の視察をしました。この学校はチェンマイからさらに北部の山岳少数民族の子供たちのための学校、小学校から高校までの一貫教育で 930 名ほどが全寮制で生活しています。施設はバレーコート 1 面程度の広さ。日差しを遮る天蓋があり、風通しも良好で多方面に渡り活用できる内容です。建設費用も翌日 14 日に視察のウタラジット地区（Uttaradit）の学校とあわせて基金から約 200 万バーツ（総



額約 500 万バーツ、1 バーツは日本円で約 3.5 円）とのことでした。視察をして写真などを撮り、校内の見学をしたところ、校長先生から校内の大きな木の下に旧日本軍のトンネル地下施設があり、この地の歴史遺産として是非全容を復元させたいとの要望がありました。昼食後移動し、ウタラジット市内に

夕方到着、同 3360 地区の 4RC 合同例会に出席をし、歓迎を受けました。



翌日 9 時出発で、ワタルニッカラム学園校（Watarunyikkaram School）を訪問しました。施設はチェンマイの施設と同じ形式ではあったが、昨年 5 月に一足先に建設した事もあり広く活用されているようでした。その後、講堂に入り、担当の先生より施設活用状況の説明がありました。視察後、バスで一時間半の



移動で、ピッサヌローク（Phitsanulok）空港に着き、そこからバンコク（Bangkok）にフライト、3500 地区のブエンクム（Buengkum）

RC メンバーの中村淳会員と会食、グローバル企画事業の打診などをし、翌日、直接帰国者を除く 6 名が 3500 地区台湾の桃園西門 RC のグローバル補助金事業の打合せに台湾に向かいました。

日泰愛知奨学基金による体育施設建設状況視察 報告書

2014-15 年度第 2760 地区（名古屋南 R C）

国際奉仕委員会 委員 木村樹生

日泰愛知奨学基金（SCHOLASHIP AWARD BY THE THAI-JAPAN ROTARY SCCHOLASHIP FOUNDATION）は約 20 年前 D-2760 と D-3360 の事業として日本円にして約 1600 万円を基金として拠出。基金はこれまで国債などの運用益として年間得られる約 70 万円を毎年 70 人の国籍を持たない山岳民族の子供たちに寄贈されてきましたが、運用益を継続確保することが難しいことや、担当者の高齢化などを理由に基金を取り崩し山岳民族の子どもたちのための 2 つの体育館施設建設に使われることが決まりました。

そこで 2014 年 11 月 12 日～15 日 3 泊 4 日の行程にて 2760 地区国際奉仕委員会メンバー 9 名で現地視察を実施しました。

12 日タイ国 Chiang Mai に到着。翌 13 日 1 つ目の施設 Suksasongkro Chiang Mai School に到着。基金の理事長 Dr.SUMIN より建設に至る経緯、執行金額等の説明を受け、施設の視察をしました。施設は山岳少数民族の子供たちの学校であり、小学校から高校までの一貫校で児童・生徒は約 900 名。寄贈した施設は 2 施設で約 500 万 Bh にてバスケットボールやバレーボールなどができる屋根付きの施設を建設。有効利用されていました。歓迎セレモニーをしていただいた子どもたちの笑顔が素敵で印象的でした。

昼食を共にした後、Uttaradit に移動し、Uttaradit の 4 RC 合同例会に出席してまいりました。パストガバナーであり元市長をはじめとするメンバー約 50 名に心温まる歓迎のセレモニーを受けました。コーディネートいただいた東海 R C さんのこれまでの国際交流の実績を勉強することができました。翌朝 2 つ目の施設 Watarunyikkaram School を訪問しました。施設は Chiang Mai の施設と同様に体育施設だけではなく地元の人たちにセレモニーや様々な催事で利用されていました。その後、Phitsanulok 空港から Bangkok を経由し帰国いたしました。私にとって今回が 2 回目の訪問となりましたが、前回以上の学びがあったと感謝いたします。





Suksasongkro Chiang Mai School



Uttaradit の 4 RC 合同例会



Watarunyikkaram School

愛知奨学生基金による施設建設視察報告書



2014-15 年度 第 2760 地区 国際奉仕委員 横田徳久

2014 年 11 月 12 日～16 日の日程で 2760 地区国際奉仕委員 9 名（私を含め）と共に国際奉仕事業 ① 日タイ愛知奨学生基金活動施設の視察（3360 地区チェンマイとウトラジットの 2 か所）
② グローバル補助金事業(台湾 3500 地区桃園西門クラブで)の進捗状況の説明・打ち合わせを執行しました。

タイの北部チェンマイを訪問、バンコクより標高差が高いため朝夕は涼しいのですが、日中は汗ばむ暑さでした。山岳少数民族の子供たちが通う少・中・高一貫制の学校で歓迎セレモニーを受け、当事者の Dr.スミン氏から愛知奨学生基金のこれ迄の経過報告を聴き、運動施設の活用をビデオで紹介されました。



運動施設は、広い校内の一郭に有って、テニスコート位の大きさで、舗装された地面より鉄柱に支えられた屋根付きの物です。当地は日差しが強く、蒸し暑いので最適かと思いました。

ここチェンマイと、ウトラジットの運動施設は愛知奨学生基金の一部の約 350 万円ずつが支給され建設されたもので、今回の目的はその 2 ヶ所の視察でした。

チェンマイから 5 時間以上かけてバスに乗り、山に囲まれた小都市ウトラジットに夜到着し、4 R 合同夜間例会に招待され、バナーを頂き暖かい歓迎を受けました。翌日ウトラジットの小・中の学校を訪問。その時、校門から入った通路の両側に大勢の子供達が両国の小旗を振り笑顔で手を合わせ迎えてくれた姿にジンとしたものを感じました。その後学校の一室で歓迎セレモニー（挨拶、ビデオ紹介、民族舞踊）がチェンマイと同様に行われ現地ガイドの通訳で理解する事が出来ましたが、個人会話では全く分からず、ただただ笑顔と握手をするだけで、せめて片言の英語でも話せたらと思いました。



校内の運動施設の両国旗が染められた横断幕の下で、チェンマイと同じで多くの子供達や現地の人々と一緒に写真を撮り握手し喜びあいました。別れを惜しんで皆さんなかなかその場を離れようとしませんでした。

運動施設は一般の人達も使用し、年間の予定は一杯です。活用されている事が分かりました。

帰途、台湾 3500 地区桃園西門クラブに立寄り、グローバル補助金事業である花蓮の身障者及び母子家庭のためのキルト作り自立支援事業の進捗状況の説明を聴き、キルト作品を戴き、夜間例会では熱狂的な歓迎を受けました。

今回私は国際奉仕事業に初めて参加し、多くの子供達・現地の人々やロータリアンに出逢い、笑顔と感謝の念を戴き、見るもの全てが感動で、本当に参加して良かったと、英語が話せたらもっと良かったと思います。仲間の方々のお世話になり、その方達が異口同音に「奉仕事業の構築・完成の喜びが一入で、人の喜びが自分の喜びです」とおっしゃる。清々しい気持ちで旅を続けました。こうした国際奉仕事業がもっともっと世界に広がる事を願います。

愛知奨学金基金による施設建設視察報告書

2014-15年度 第2760地区

国際奉仕委員 高山 進

表題の件について、ご報告をします。ただし、詳細については、他の方と重複するのと、私自身、カメラを持参しなかった為に写真がないので省略して、私は視察を行っての感想を中心に報告したいと思います。

(1) Suksasongkro Chaing Mai School の視察について

- ①バレーボールのコートの視察でしたが、まだ、出来てから日が経っていないようで、新しかった。山岳少数民族用の全寮制の学校の施設で、学生数も多いということなので、これから大いに、色々な方面で利用されていくだろうと思いました。
- ②歓迎の場所で、学生さんによる山岳の民族舞踊で歓迎されたこと、最後にタイの民芸品のお土産をもらったりして、タイとの異文化交流が出来たことが嬉しかった。
- ③構内の旧日本軍の要塞施設を案内してもらった。タイ国内でも今、注目されている施設のようでしたが、まだ、第二次世界大戦の痕跡が残っていることの感慨と今は、平和でこのように異文化交流が出来ているとこの幸せを感じた。
- ④ Dr.Sumin さんを始めとして、何人かの人と昼食の席を設けていただいたが、残念ながら、あまり会話が弾まなかった気がします。言葉の壁を克服して、もう少しコミュニケーションがとれると良かった。
- ⑤今でも、色々な施設が建設されていました。この学校の、教育施設の強化の一役を担えて、良かったなと思いました。

(2) Watarinyikkaram School の視察について

- ①学生さん達に大歓迎をしてもらって、いつも国際奉仕をしていてと思いますが、やって良かったなと思います。
- ②バレーボールのコートの施設でしたが、こちらは出来てから日が経っているようで、すでになんかなり使いこなしているようでした。色々なことで、使われているようで、寄付した甲斐があったなと思いました。
- ③歓迎のパーティで、委員長の挨拶やメンバーの紹介で、タイ語で少しでも話されると、親近感が増したのかなと思いました。
- ④パーティーの会場でも、学生さんの通訳がいましたが、私達とタイのロータリーメンバーの人たちと、今ひとつコミュニケーションがとれなかった気がします。言葉の壁を何とか克服できればいいと思いました。
- ⑤パーティでは、私たちとタイの人と一緒に、大勢でタイのダンスを踊ることが出来て、大いに人事交流が出来たと思いました。

以上

平成 26 年 12 月 10 日

第 2760 地区

杉浦 敏夫 国際奉仕委員長 様

2014-15 年度 2760 地区

国際奉仕委員 峠 テル子

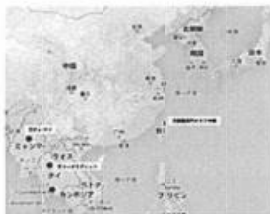
愛知奨学生基金による施設状況視察 報告書

日 程：平成 23 年 11 月 12 日（水）～16 日（日）

場 所：タイ/チエンマイ・ウットラジット

参加者：第 2760 地区 国際奉仕委員 9 名

1,活動報告



タイ国施設訪問記録			
日付	訪問先	訪問内容	備考
11月12日	チエンマイ	チエンマイ国際奨学生基金活動施設視察	
11月13日	チエンマイ	チエンマイ国際奨学生基金活動施設視察	
11月14日	チエンマイ	チエンマイ国際奨学生基金活動施設視察	
11月15日	チエンマイ	チエンマイ国際奨学生基金活動施設視察	
11月16日	チエンマイ	チエンマイ国際奨学生基金活動施設視察	

(1) 訪問先 ●タイ愛知奨学生基金活動施設の視察

①11月13日（木）チニンマイ

○山岳少数民族の6才から18才までの子どもたちの学校 奨学生から高校生までの一貫教育で930名が全寮制で勉学し生活している。

○援助施設の確認

★広い校内の一隅にある、バレーボールコート位の面積の広さが舗装され、鉄柱で支えられた屋根付きの建物が建設されていた。

○感謝のお言葉：パスト・ガバナー スンミン先生から、「兎に角日差しが強い地域です。この日陰を利用して、例えば、講堂として、またフットサル場として、お祈りの場として様々な集会場として快適に使用しております。」

②11月14日(金) ウッタラデット

○13日ウッタラデット県に到着。その夜の4RC合同例会に参加、
仕事帰りの奥様方も出居されて大変な歓迎を頂いた。これがFIだと感動した。

○援助施設の確認

★14日、ウッタラデットへの援助もチエンマノと同じ施設が建設されていた。

○ 感謝のお言葉：ピーセント学校の校長先生から、「年間使用予約は満杯状態です。小口学生のみでなく、近隣の住民も利用している。太陽の日差しが強いのでとても有難いです。」

(2) 台湾 3500 地区との新規事業「共同企画」打合せ

●11月16日(日) 台湾 3500 地区 桃園正門クラブ訪問

目的：第2760地区と第3500地区との共同企画である「グローバル補助金事業の打合せ」のため

内容：R3500地区 桃園正門クラブの冊子より抜粋

《グローバルグラント申請案「花蓮黎明教養院のキルトセンター」

黎明教養院は、院内で教育訓練室を設立、心身障害者と母親単親家庭に対して、教育をしています。

★ 援助の対象：ブラザミシン・・・30台、ミシン作業台30台

設備購入予算額 42,500 USD (1USD=30NTD)
(1,275,000NTD)》

2、国際奉仕委員会活動に参加して思う事

(1) 他国との交流は、

- ①自分のまだ知らない、大きな世界を知る機会。
- ②ほんの僅かでも世界の人々のお役に立つことが出来る。

(2) 国際奉仕活動の実感

- ①自分の時間とお金を最高の使い方が出来ることが嬉しい。
- ②他国の初対面のRC会員と握手し、言葉で無く心と心で交わす時。本当に来て良かったと実感する。

以上

第 5 回国際奉仕委員会議事録

日時：2014 年 12 月 10 日

会場：ガバナー事務局

出席者：近藤ガバナー、牧野ガバナー補佐、岡村地区副幹事

杉浦委員長、堀江副委員長、鈴木副委員長、本間、岡部、木村、横田、山田、峠、坂倉、高山
オブザーバー 福田 VTT 委員長

司会：鈴木宏司

1. 杉浦委員長挨拶
WFF からタイ・台湾訪問と続きお疲れ様でした。
WFF の中間報告では収益もありカンボジア支援の準備を進めていきたい。
2. 近藤ガバナー挨拶
3. 岡村地区副幹事挨拶
4. 議事
 - ① 愛知奨学金基金活用施設視察について
 - (1) 視察結果報告書について
参加者の報告書を早急に提出して欲しい。
 - (2) 今後の対応について
全体で約 500 万バーツのうち 200 万バーツ使用。残りの使い道を監視したい
 - ② 台湾 RI3500 地区グローバル補助金事業について
 - (1) 訪問結果について
報告書提出
 - (2) 花蓮黎明教養院訪問について
1 月 17 日～19 日訪問予定 参加予定 堀江・鈴木
 - ③ WFF 実行委員会について（福田 VTT 委員長）
 - (1) カンボジアブース結果報告
T シャツ売上 約 1,000 枚 13 万円
 - (2) WFF 会計について
収益 283 万円 ポリオ 1 万ドル 150 万円程カンボジアへ
小規模の井戸を掘る。学校へ文具、制服、机、椅子を贈る
 - (3) 今後の取組について
完成を 4 月頃迄に。各クラブにも募集をして見に行く
 - (4) その他
T シャツ残り現在村瀬さんの自宅にあるが、4 月にカンボジアへ持っていく。
 - ④ 世界理解月間、識字率向上月間卓話依頼について
 - (1) 卓話担当割について 全員で確認
 - (2) 卓話用パワーポイントについて
勉強会の開催 1 月 14 日（水）14 時～ガバナー事務所にて
6. 講評 牧野ガバナー補佐

2014-15年度RI-2760地区国際奉仕委員会卓話依頼クラブ一覧表

2014年11月末 現在

年	月	日	曜日	クラブ名	例会開始時間	例会会場	会長	幹事	国際奉仕委員長	会員数	卓話訪問者	卓話演題	備 考
2014	9	25	木	名古屋丸の内	12:30～	名古屋クレストンホテル9F	永井克昌	矢野武嗣	磯部徹	47	杉浦 敏夫	私と国際奉仕	
2015	1	29	木	名古屋大須	12:30～	名古屋東急ホテル	高木 政義	大原 敏正	酒井 修	60	堀江 英弥	未 定	
	2	2	月	豊田西	12:30～	名鉄トヨタホテル7F	伊藤 慎一	杉浦 栄二	島田 紀彦	94	杉浦 敏夫	国際奉仕全般を分かり易く	
	2	3	火	名古屋名南	18:30～	名古屋マリオットアソシアホテル17F	吉木 邦男	児島 徳和	三浦 隆	53	横田 徳久	国際奉仕活動について	
				半田南	12:30～	半田商工会議所	榊原 肇	岩部 雅人	杉浦 豊幸	36	鈴木 宏司		
				名古屋名東	12:30～	名古屋国際ホテル	中村 公彦	佐藤 健五	加藤 令	61	岡部 務		
	2	4	水	名古屋南	12:30～	名古屋観光ホテル	粕谷 忠晴	後藤 正憲	木村 樹生	122	木村 樹生	識字率向上について	
				名古屋守山	12:30～	名古屋マリオットアソシアホテル17F	木村 邦彦	鵜飼 昌治	重富 亮	40	岡部 務		
				名古屋名北	12:30～	アパホテル名古屋錦	岩田 満治	横井 尚啓	杉浦 定文	38	横田 徳久	お任せします	会報用原稿600字
				名古屋和合	12:30～	ウェスティンナゴヤキャッスル	吉田 正道	亀井 敏勝	坂倉 弘康	104	坂倉 弘康		
				碧南	12:30～	碧南商工会議所2F	石橋 嘉彦	伊藤 正幸	鈴木 宏枝	69	村瀬 秀和		12:15までに現地
	2	5	木	江南	12:30～	江南商工会館大ホール	堀尾 庄一	岩田 静夫	富田 清孝	48	峠 テル子	特になし	
	2	6	金										
	2	9	月	知多	12:30～	じろきん本店	永井 喜義	千賀 貴彦	山口 清文	29	鈴木 宏司		知多市朝倉町299
	2	10	火	名古屋千種	13:30～	名古屋東急ホテル	加藤 重雄	小林 英毅	池森 由幸	41	岡部 務	他クラブの国際奉仕の現状	
				愛知長久手	13:30～	トヨタ博物館小ホール	伊藤 広治	日野 典子	赤塚 一三	20	本間 毅	特に希望無し	
	2	11	水										
	2	12	木	名古屋瑞穂	12:30～	ヒルトン名古屋4F桜の間	岩田 修司	堀 慎治	湯澤 信雄	63	杉浦 敏夫	特に希望無し	
	2	13	金	名古屋みなと	12:30～	名古屋マリオットアソシアホテル17F	吉田 利男	高村 芳行	田島 伸也	71	鈴木 宏司		
	2	16	月	あま	12:30～	名鉄グランドホテル	栗木 和夫	臼井 幹裕	横井 久雄	79	木村 樹生	識字率向上	
	2	17	火	岡崎城南	18:30～	岡崎ニューグランドホテル	牧野 正高	犬塚 浩	松野 敏	74	本間 毅	特になし	20分間
	2	18	水	小牧	12:30～	名鉄小牧ホテル3F	中村 明	橋本 晃暢	松尾 憲二郎	30	峠 テル子	具体的な国際奉仕活動の話し	
	2	19	木	名古屋西	12:30～	名古屋マリオットアソシアホテル	田中 義一	野間 義正	水野 隆二	104	堀江 英弥	地区国際奉仕活動報告と識字率向上活動について	12/10までに演題を
				名古屋東山	12:30～	ホテル ルブラ王山	渡邊 萬里	酒井 清	山城 章治	34	岡部 務	識字率向上活動について	
	2	20	金										
	2	23	月										
	2	24	火										
	2	25	水										
	2	26	木	西尾一色	12:30～	一色町商工会館	山下 保彦	小出 道治	鳥居 萬里	27	鈴木 宏司	特になし	
	2	27	金	西尾KIRARA	12:30～	西尾信用金庫中央支店2F	後藤 利之	鈴木 善和	野口 要二	58	山田 拓		
	3	2	月										
	3	3	火	半田南	12:30～	半田商工会議所	榊原 肇	岩部 雅人	杉浦 豊幸	36	鈴木 宏司	識字率向上について	
				高浜	12:30～	衣浦グランドホテル	高桑 雄司	鈴木 康博	中村 さと子	33	村瀬 秀和		
	3	4	水	名古屋アイリスRO	13:00～	ANAクラウンプラザホテル	荒山 久美	藤森 淳	綿貫 達雄	34	横田 徳久	識字率向上、意義について	
	3	5	木	大府	19:00～	大府商工会議所3F	木村 正嗣	中村 和則	相羽 英人	16	村瀬 秀和		
	3	6	金										
	3	9	月	名古屋栄	18:00～	名古屋クレストンホテル9F	立松 賢	山田 慎也	大嶋 秀紀	83	坂倉 弘康		
	3	10	火	名古屋城北	12:30～	名古屋栄東急イン	服部 智謙	長谷川 幸正	津坂 守英	31	木村 樹生	識字率向上について	
	3	11	水										
	3	12	木	東知多	12:30～	山田家ベル3F	山本 さゆり	戸田 宏和	新美 義博	21	鈴木 宏司		
	3	13	金	尾張旭	12:30～	尾張旭商工会館2F	古橋 裕志	中澤 昌容	山田 直樹	25	山田 拓		
	3	16	月										
	3	17	火	豊橋北	12:30～	ホテルアークリッシュ豊橋	鈴木 大次郎	加藤 卓秀	天川 泰一	73	堀江 英弥	識字率について	
				岡崎南	12:30～	岡崎ニューグランドホテル	犬塚 克明	小野 正富	杉浦 彰	94	杉浦 敏夫		
				瀬戸北	12:30～	瀬戸商工会議所	小澤 修	荒井 康夫	伊藤 京子	66	山田 拓		
	3	18	水	豊橋東	12:30～	ホテルアークリッシュ豊橋	渡邊 茂	西 崇秀	角谷 歩	43	本間 毅	マラさんのノーベル賞受賞と絡めその後と	規模で可能な事業
	3	19	木	岡崎東	12:30～	岡崎市竜美ヶ丘会館	三浦 泰廣	近藤 金作	生駒 尚久	60	峠 テル子		
	3	20	金										
	3	23	月										
	3	24	火	名古屋清州	12:30～	名古屋マリオットアソシアホテル	後藤 鈴明	鷲見 好弘	池戸 賢治	31	高山 進		
	3	25	水	尾張中央	12:30～	名鉄グランドホテル	山下 隆義	片山 進	辻 光範	33	坂倉 弘康		
	3	26	木										
	3	27	金										
	3	30	月										
	3	31	火	名古屋錦	12:30～	名古屋ガーデンパレス2F	落合 和子	工藤 悦子	佐藤 隆	29	高山 進		

台湾花蓮県黎明教養院キルトセンター贈呈式参加報告書

地区国際奉仕委員会 杉浦敏夫

2015年1月18日より地区国際奉仕委員会メンバー6名にて台湾第3500地区桃園西門RCを訪問、台湾桃園国際空港には18日昼過ぎの到着となり、桃園西門RCメンバーの出迎えを受け賑やかな再会となった。時間的にも中途半端な時間となり、その日は桃園市の南東に隣接する陶磁器の街、鶯歌市の観光をさせて頂き夕食会はホテル近くのビアホール。翌朝9:19 桃園駅発にて花蓮に移動12:30に到着し、市内のカレー専門店にて昼食、その後タロコ渓谷の観光に出掛けた。タロコ渓谷の雄大な自然造形美に魅せられ、圧倒されての感



動観光でした。夕刻にホテルにチェックインしその後、RI-3500 地区ガバナーを始め地区内クラブや桃園西門クラブの面々と和やかな中で宴会が行われた。



いよいよ本番の花蓮黎明教養院の黎明向陽園キルトセンターの贈呈式に参加し、仕事の都合で一足早く堀江副委員長、村瀬委員、峠委員の3名が帰国の為10:15 出発、その後近くの海鮮レストランにて昼食、鈴木副委員長、高山委員を残し、私も

蔡さんの動向で12:20には移動し花蓮駅へ13:00 発の自強号にて桃園駅経由で空港まで送って頂き、1人香港に移動し終了する。



台湾花蓮県黎明教養院キルトセンター贈呈式参加報告書

地区国際奉仕委員会副委員長 堀江英弥

3500地区台湾桃園西門RCと2760地区国際奉仕委員会で行っていた、キルトを用いて、障害者の自立支援のためのミシンや用具などの贈呈式が行われました。

グローバル補助金事業の台湾花蓮県黎明教養院キルトセンターでの贈呈式は、2015年1月19日当地区陳ガバナー・許パストガバナー・地区行政担当者や桃園西門RCメンバーと家族など多くの方々の出席のもと暖かい歓迎を受け、皆様の挨拶に続き除幕式が行われました。



我々地区国際奉仕委員会のメンバーも杉浦委員長・鈴木副委員長・村瀬委員・高山委員・峠委員と小生の6人で参加、前日の18日にセントレア空港より飛立ち昼過ぎに台湾桃園国際空港に到着、出迎えてくれた桃園西門RCメンバーと合流し、途中陶磁器の街 鶯歌に立ち寄りして、宿泊地桃園市のレストランで家族も交えて懇親会を行いました。

翌日は桃園駅から花蓮駅まで鉄道で3時間ほどの移動でした。花蓮には昼過ぎに到着し、昼食タイム。当然飲茶かなと中華料理を思い浮かべていましたが、意外やカレー専門店（現地では珍しいのかも知れません）でした。その後、雄大なタロコ渓谷を観光してホテルに到着しました。夜は宿泊しているホテルで3500地区のガバナー・パストガバナー・黎明教養院職員や桃園西門RCと懇親の輪を拓けることができました。



贈呈式当日20日は贈呈式を済ませて、一足先に、村瀬委員・峠委員と小生3人は教養院の車で桃園の駅まで送ってもらい再び3時間ほど列車にゆられて樹林までRC事務局員と一緒にいき、台湾桃園国際空港より帰国しました。

現地の皆様と桃園西門RCの皆さんの熱い思いと友情で当事業が出来たことに感謝いたします。

台湾花蓮県黎明教養院キルトセンター式典参加の報告書

2014～15年度 第2760地区

国際奉仕委員 高山 進

1, 概要

- (1) 日時 2015年1月18日 ～ 1月21日
- (2) 訪問先 台湾第3500地区桃園西門ロータリークラブ
- (3) 目的 花蓮県にある黎明教養院にキルトセンターの贈呈式に参加する。

2, 主な日程と感想

- (1) 台湾桃園国際空港において、西門RCのメンバーの出迎えを受けた。
私は、このメンバーと会うのは初めてだったが、その歓迎ぶりに大変驚きました。
- (2) RCのメンバーの案内で、陶器の町 鶯歌市の町並みを観光した。
- (3) 夜は、RCのメンバーとビヤホールにて、会食した。
(うわさ通りの、すばらしい飲みっぷりで、大歓迎を受けた)
- (4) 翌朝、桃園駅から電車に乗って、花蓮に移動した。カレー専門店にて昼食後、RCのメンバーと太魯閣溪谷を観光した。
(大自然の迫力に 圧倒され、すごく感動しました)
- (5) 夜は、福容ホテル内にて RCの地区ガバナーを始めとして、たくさんの人に集まってもらって、歓迎のパーティーを受けた。
- (6) 20日には、朝から 黎明向陽園にて、贈呈式に参加した。地元のテレビ局の取材があったり、そうそうたる役職の人が大勢集まって、すばらしい式典だった。台湾の公式の式典に参加したのが初めてだったので、非常に興味深かった。
- (7) 式典の終了後、残った人に 教養院の人の案内で、向陽園内を見学した。
- (8) 昼食は、近くの海鮮レストラン立川漁場にて、“黄金のしじみ”など、地元の料理を堪能した。
- (9) その後、電車にて 桃園に戻って、最後にRCの幹部の皆さんと懇親して解散した。
- (10) 最終日は、一人で 桃園の町の中を散策して、鈴木副委員長と共に帰国した。

3, その他

とにかく、印象に残ったのは、うわさには聞いていましたが、酒をからめての歓迎ぶりです。酒があまり強くない私にとっては、苦痛な面もあったが、楽しかった面も多くて、有意義な旅行でした。

以上

2014～2015 年度国際ロータリー第 2760 地区

第 6 回国際奉仕委員会議事録

日時：2015 年 2 月 4 日 15 時半から 17 時半

会場：ガバナー事務所

出席者：湯澤信雄地区スタッフ

杉浦委員長、堀江副委員長、鈴木副委員長、本間、村瀬、横田、岡部、峠、高山、坂倉
山田

司会：鈴木宏司

1・湯澤地区スタッフ挨拶

2. 杉浦委員長挨拶「1 月の台湾・花蓮の引き渡し式は皆さんお疲れさまでした。今日は先月 29 日から始まった卓話内容などについて聞かせていただきます。それと W F F 関連のカンボジアが始まりますので話題の中心にしてゆきます」

3. 4. ガバナー挨拶、特別出席者挨拶は参加されなかったので省略。

5・議事

5—1、台湾 R I —3500 地区グローバル補助金事業（パッチワークキルト教室支援）について

（1）報告書について

これから感謝状など作成します。桃園西門クラブとはこれからも花蓮・黎明教養院関連でお付き合いが続くでしょう。私の作成した報告書を資料に添付しましたが、参加した他の皆さんも提出お願いします。（杉浦委員長）

（2）その他 高山：酒量も多かったが、女性が元気。タロコ渓谷は感動。村瀬：酒席が多かった。堀江：村瀬さん、峠さんと早めに帰りすみませんでした。蔡さんが子供連れで頑張ってくれました。台湾では 12 歳までは一人で家に留守番はダメだそうです。桃園地区ガバナーが 2 日目も懇親会に出席していただけた。鈴木：3 日目は高山さんと一緒にピーター会長と蔡さんの会社を訪問。花蓮のグローバルは黎明教養院のスタッフが英語堪能のためグローバル書類作成しやすいからのようだ。杉浦委員長が現地テレビに撮影されていた。

5—2. 台湾 R I —3500 地区桃園西門 R C 来日について

（1）3 月 29 日から 4 月 2 日スケジュールについて

29 日に 17 人で来名して大須商店街、その後箱根富士 5 湖にゆき、豊田に戻って豊田クラブと桜見物しながら会食予定。29 日に委員会で歓迎会やる予定。参加お願いします。（杉浦委員長）

（2）宿泊先相談。クレストンホテルで決定か？（坂倉担当）

5ー3．世界理解月間、識字率向上月間卓話依頼について

- (1) (2) (3) (4) 杉浦、堀江、横田、鈴木、岡部、村瀬の順に経過報告。
プロジェクターと話す場所の位置が重要（横田）など。おおむね順調にスタート。
- (5) 今後の予定確認。添付資料で確認してください。これから他の皆さんも始まりま
すので頑張ってください。（杉浦委員長）
- (6) その他

5ー4・WCS活動について

- (1) カンボジア・アンコールRC打合せ報告
現地アイリーンさんたちと連絡取り合いすすめてゆきます。（坂倉）
- (2) その他 提供資材内容などについて討議

5ー5・その他 添付資料参照、地区プロジェクト入金と参加依頼書を発信します。
確認してください。「地区大会における活動報告・展示のお願い」がガバナー事務所か
ら来ている。時間もないので写真とキャプションで作ってみます。（杉浦委員長）

地区プロジェクトについては、クラブに感謝状、記念品贈呈などしたほうがよいので
はないか（岡部）

6．講評 湯澤地区スタッフ

皆さんお疲れ様です。地区プロジェクトの記念品贈呈などは実現すると
よいですね。

第 8 回国際奉仕委員会議事録

日時：2015 年 4 月 8 日 15 時 30 分 会場：ガバナー事務所

出席者：高須地区幹事、牧野ガバナー補佐、岡村ガバナー補佐、
杉浦委員長、鈴木副委員長、堀江副委員長、村瀬、岡部、木村、本間、横田、
山田、坂倉

司会：鈴木副委員長

1) 開会のことば

2) 杉浦委員長挨拶

- ・これまでの国際奉仕 並びにこれからの国際奉仕事業について
- ・今後の委員長会議や種々の会議などに大勢の方々の参加のお願い

3) 牧野ガバナー補佐挨拶

- ・今年度の国際奉仕事業は残っていますが、今年度の活動が目立ち、来年度の地区やクラブの活動により刺激になると思う。

4) 議事

－ 1. 第 2 回地区内クラブ国際奉仕委員長会議について（本間・岡部）

- ① 5 月 22 日（金）15：00 受付
- ② 案内状作成…2760 地区クラブ国際奉仕委員長宛配布
- ③ 事例発表（各クラブ 30 分づつ）
イ、岡崎城南…ミャンマーのプロジェクトについて
ロ、名古屋名東…バリ島水プロジェクトについて
- ④ 委員長会議報告（鈴木副委員長）：開会挨拶…堀江副委員長
- ⑤ 名鉄との打合せ…名札・ヒナ段について
- ⑥ 役割分担（本間、岡部、山田、横田）
- ⑦ 時間割…委員会次第、講評、意見交換会など

－ 2. カンボジア・シェムリアップ支援について（坂倉・木村）

- ・坂倉さんが、現地に行かれ、下見され、その結果をもとに支援内容、予算、日程、及び参加者について

－ 3. 世界理解月間、識字率向上卓話報告…時間の都合上割愛

－ 4. 新旧合同委員会担当者変更について…当初の岡部・坂倉から山田・高山に変更
日程：2015 年 6 月 12 日 18：00～

－ 5. クラブ単独国際奉仕事業報告書回収状況について

6月1日をめどに、5月下旬までに回収されていないクラブに請求する

－ 6. 今後の日程について

5月13日委員長会議、6月12日（新旧合同）（金）18:00～

5) 講評

色々な話し合いを、今後の活動に生かして下さい

6) 閉会のことば

以上

2014-15年度 RI-2760 地区第2回国際奉仕委員長会議

日時 : 2015年5月22日金曜日

15:30~17:30委員長会議

17:30~19:00懇親会

場所 : 名鉄グランドホテル11F

内容 : 近藤ガバナー、杉浦委員長挨拶後、鈴木副委員長より本年度地区国際奉仕委員会の活動及び年度内予定の報告がされました。休憩後、本年度顕著な国際奉仕



活動をされた岡崎城南 RC 及び名古屋名東 RC の2クラブの方々にご報告を頂きました。岡崎城南 RC の皆さんには長年のミャンマーに対する支援内容やミャンマーへのいきさつや当時の米山奨学生で現在は同クラブの会員である事など克明

に説明頂きました。2番目のクラブとして名古屋名東 RC の中村会長にお越し頂き、本年度グローバル補助金事業としてインドネシアのバリ島での活動をご報告頂きました。その後質疑応答が活発になされ、回答者にガバナーにお出まし頂く一幕もありました。高須地区幹事の講評を頂き終了としました。その後、隣室にて懇親会を開催し和やかな



な中にも各クラブ国際奉仕委員長、地区国際奉仕委員たちも一応に本年度の一年間の労をねぎらいながら和気藹々の内に終了する事ができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

第9回地区国際奉仕委員会 議事録

ガバナー事務所 15:30～

特別出席:近藤ガバナー・高須地区幹事・岡村副幹事

参加者:杉浦委員長・堀江副委員長・鈴木副委員長

本間委員・村瀬委員・木村委員・横田委員・坂倉委員・山田委員

1. 開会のことば

2. 委員長挨拶 地区国際奉仕委員長 杉浦 敏夫

協議会ご苦勞様でした。地区の活動に 興味を持って頂いたのは、
良かったと思います。

これから委員会会議の準備を進めていきます。

3. ガバナー挨拶 RID2760 地区ガバナー 近藤 雄亮

協議会のご苦勞様でした

今回は各地区委員会が、混ざり合い情報の共有ができたのではないかと思います。

次年度も本年度同様に続けてれると良いと思います。

4. 特別出席者挨拶 RID2760 地区幹事 高須 洋志

単独で行動出来ないクラブは、地区でとっていますが、色々な補助金があるので、
各クラブまたは、分区ごとにできないを話し合い、地区はサポートに立場に
なるのが良い方向であると思います。主体をクラブにするスタイルを地区委員会
にて話し合ってください。

5. 議事

ー1. 第2回地区内クラブ国際奉仕委員長会議について 本間委員

委員会会議次第について確認、

名鉄グランドホテルとの打合せについて昨年の見積もりなので再見積もり

出欠席状況については、まだ回答がなクラブへ再確認

担当、カメラ／横田委員・木村委員

受付／岡部委員・山田

当日は14:30集合

- 2. カンボジア・シェムリアップ支援について 坂倉委員
カンボジアとの打ち合わせ状況について、最終打ち合わせ中
参加者の確認及び個々のスケジュールの確認 6月8日に
公式事業がありますので、その日に併せて現地集合を。
現在11名の予定
配布品(Tシャツ・飴)は段ボールで6日発組が持っていく事に
現地看板等の最終確認をする。
- 3. 新旧合同委員会について 杉浦委員長
参加者を再確認お願いします。
- 4. クラブ単独国際奉仕事業報告書回収状況について 杉浦委員長
未提出クラブへ催促をする
分区単位でまとめて、委員長に送る
- 5. 今後の日程について 杉浦委員長
資料を確認
- 6. その他
- 6. 講評 RID2760 地区副幹事 岡村 達人
特にございません。残りの事業も頑張ってください。
- 7. 閉会のことば

カンボジア・シェムリアップ 5日間／ベトナム国際航空（中部発着）

／	月 日	都市名	現地時間	交通機関	内 容	食事
1	6／07 (日曜日)	名古屋 ハノイ シェムリアップ	8:30集合 10:30発 13:35着 15:30発 17:10着	VN347便 VN837便	中部空港集合 名古屋(中部)発 空路 ハノイへ ハノイ到着後 乗継ぎ ハノイ発 空路 シェムリアップ シェムリアップ到着後 ホテルへ ※専用車&ガイドチャーター ～2100	機内 機内
					現地集合の方とホテルにて待ち合わせ 夕食: [シェムリアップ]	タ・
2	6／08 (月曜日)	シェムリアップ			ホテルにて朝食 ※専用車&ガイドチャーター 9:00～2100 寄付金 寄贈式 寄付金施設視察 夕食:懇親会 [シェムリアップ]	朝・○ 昼・ タ・
3	6／09 (火曜日)	シェムリアップ	午前 午後		ホテルにて朝食 アンコールトム遺跡観光 クメール料理の昼食 アンコールワット遺跡観光 夕食: [シェムリアップ]	朝・○ 昼・○ タ・
4	6／10 (水曜日)	シェムリアップ ハノイ	20:25発 22:05着	VN834便	ホテルにて朝食 出発時間まで、自由行動 希望者OP:トレンサップ湖(水上生活)観光 ※ホテルチェックアウトは12:00になります。	朝・○ 昼・OP
					ホテルより空港へ シェムリアップ発 空路 ハノイへ ハノイ着 乗継	機内
5	6／11 (木曜日)	ハノイ 名古屋	00:30発 6:55着	VN346便	ハノイ発 空路 名古屋(中部)へ 名古屋(中部)着後 解散	機内

※交通機関の都合等やむを得ない事情により、発着時間、訪問地、宿泊地、利用ホテル等、日程の一部に変更を生じることがあります。

◎ご利用ホテル◎

シェムリアップ / アンコールセンチュリーホテル クラス利用(Aグレード)
(ホテルはシングル利用になります)

旅行代金 : 現地ホテル集合の方 @¥ 48,000ー [ホテル3泊、送迎、ガイド、アンコール遺跡観光が含む]
: 航空券もご利用の方 @¥ 124,000ー [ヴェトナム航空・エコノミー利用、空港税、燃油追加代金含む]
ビジネスクラス利用は@¥ 75,000ーがエコノミークラス料金に追加されます。

オプション : トレンサップ湖+昼食 @¥ 4,000

第2回 「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」(WFF)による人道的支援事業のご報告

昨年11月1日から3日まで開催した第2回WFFによる収益金を使ってカンボジア・シエムリアップ近郊の農村(ロビエ村、ロムデン村、カール村)にてトイレと井戸、制服、文房具を寄贈しました。

＜トイレ 40ヶ所＞



＜井戸 17本＞



＜制服 300着＞



＜文房具 400セット＞



＜地元赤十字社からの感謝状＞

2015年6月8日 寄贈式典にて



＜第1回WFFによる簡易水道施設＞



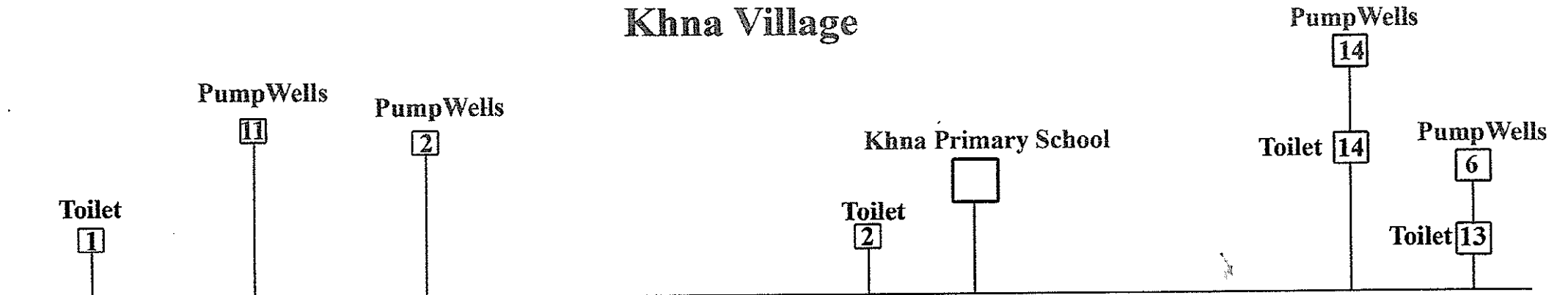
第1回WFFによる収益金で近隣の村に建設された簡易水道施設は、毎日315世帯に貴重な水を送り続けています。(各家庭にはメーターが設置されており、水道料金はメンテナンス費用に充当されます。)
また、貯水タンク下の小学校校庭脇には農園が併設されていて、収穫した野菜・果物は市場で販売します。毎朝、児童が交代で水遣りを行うなど農業学習プログラムとなっています。

	Names of donors	Toilets	wells	Village
	Tokai Rotary Club	2	1	Khna
	Tsushima Rotary Club	2	1	Khna
	Kasugai Rotary Club		1	Khna
	Aichi Nagakute Rotary Club		1	Khna
	Nagoya Rotary Club	4	2	Khna
	Nagoya South Rotary Club		1	Khna
	Nagoya Sakae Rotary Club	2	1	Khna
	Nagoya North Rotary Club	2	1	Khna
	Ngoya Moriyama Rotary Club	2	1	Khna

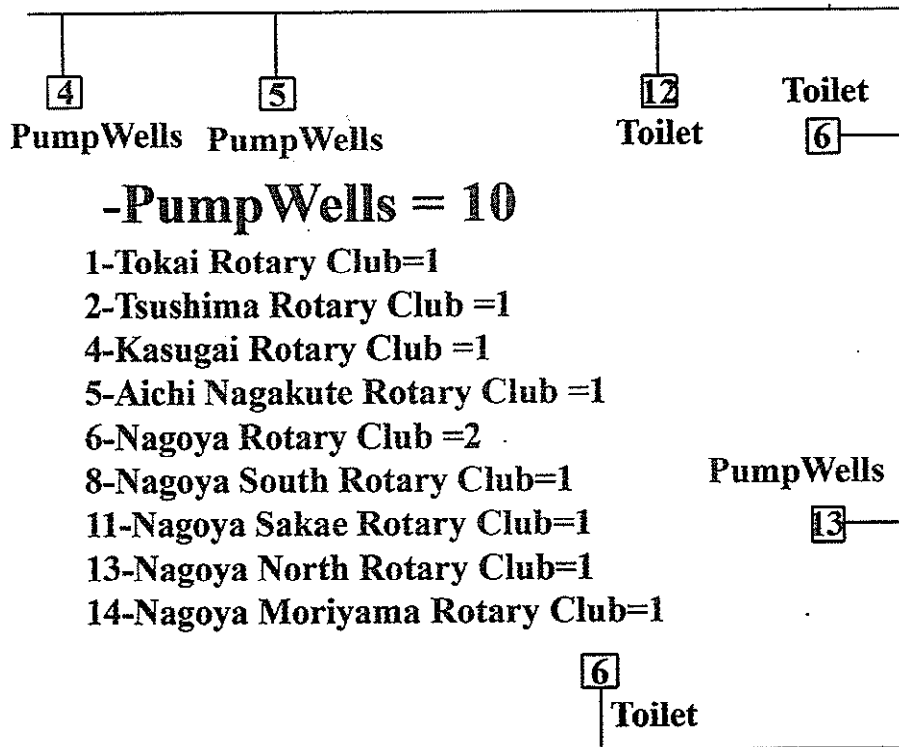
	Names of donors	Toilets	wells	Village
	Nagoya Kiyosu Rotary Club	2		Lovea
	Nagoya West Rotary Club	2		Lovea
	Nagoya Minato Rotary Club	2		Lovea
	Nagoya Osu Rotary Club	2		Lovea
	Nagoya Meihoku Rotary Club	2		Lovea
	Nagoya Chikusa Rotary Club	2		Lovea
	Nagoya Higashiyama Rotary Club	2		Lovea

	Names of donors	Toilets	wells	Village
	Nagoya Meinan Rotary Club		1	Romdeng
	Nagoya Wago Rotary Club	2	1	Romdeng
	Nagoya Aoi Rotary Club		1	Romdeng
	Toyohashi East Rotary Club		1	Romdeng
	Toyota Rotary Club	2	1	Romdeng
	Kariya Rotary Club	2	1	Romdeng
	Hekinan Rotary Club	2		Romdeng
	Donors at World Food and Fure-i Festa 2014	4	1	Romdeng

Khna Village

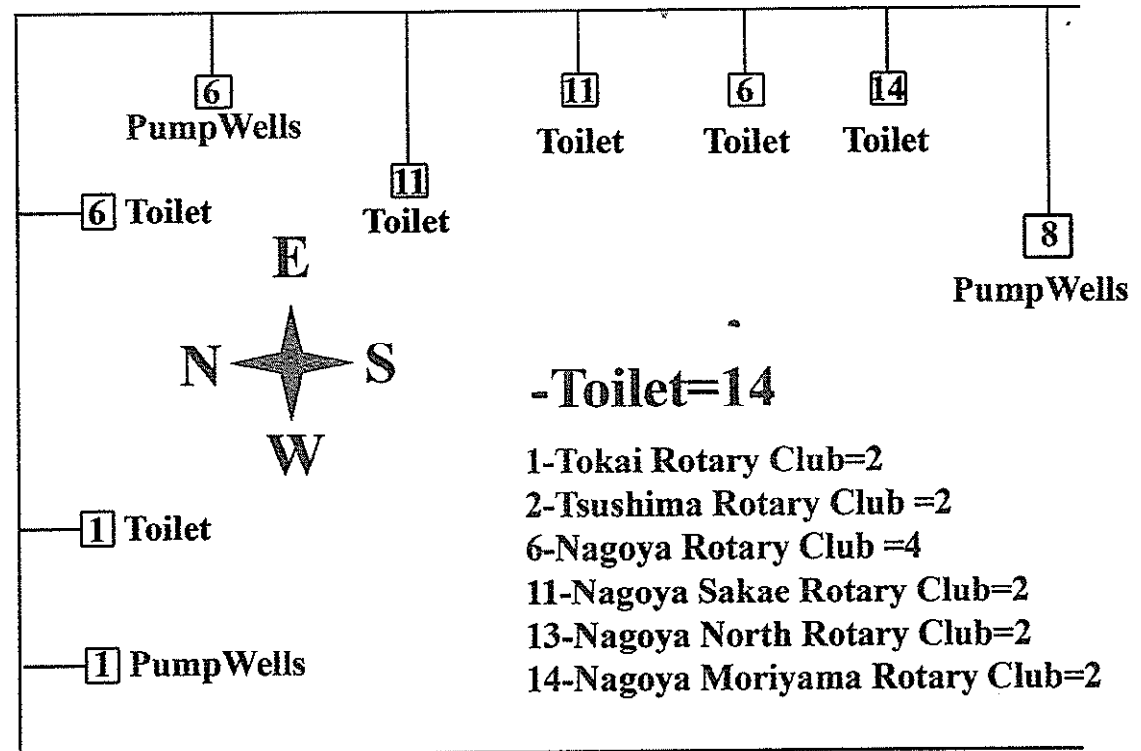


Banteay Srey Temple ← Siem Reap



-PumpWells = 10

- 1-Tokai Rotary Club=1
- 2-Tsushima Rotary Club =1
- 4-Kasugai Rotary Club =1
- 5-Aichi Nagakute Rotary Club =1
- 6-Nagoya Rotary Club =2
- 8-Nagoya South Rotary Club=1
- 11-Nagoya Sakae Rotary Club=1
- 13-Nagoya North Rotary Club=1
- 14-Nagoya Moriyama Rotary Club=1



-Toilet=14

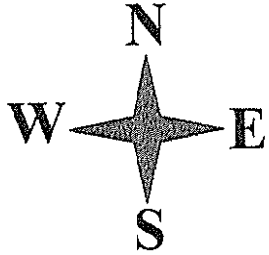
- 1-Tokai Rotary Club=2
- 2-Tsushima Rotary Club =2
- 6-Nagoya Rotary Club =4
- 11-Nagoya Sakae Rotary Club=2
- 13-Nagoya North Rotary Club=2
- 14-Nagoya Moriyama Rotary Club=2

13
Toilet

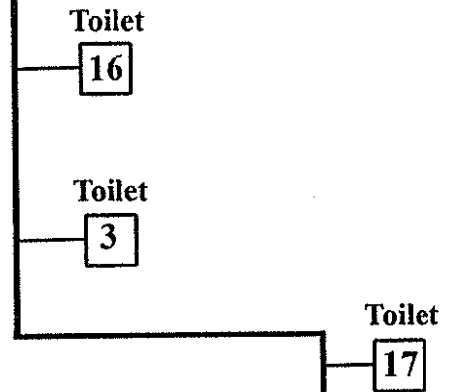
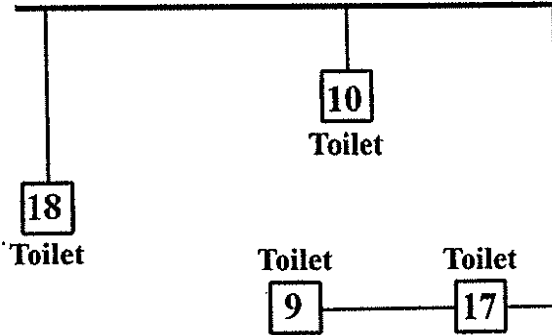
Lovea Village

Siem Reap

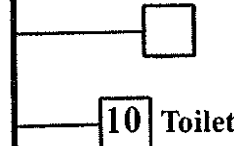
Phnom Penh



Lovea Road

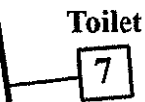
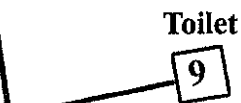
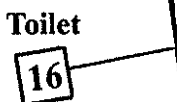


Lovea Primary School



- Toilet=14

- 3-Nagoya Kiyosu Rotary Club=2
- 7-Nagoya West Rotary Club=2
- 9-Nagoya Minato Rotary Club=2
- 10-Nagoya Osu Rotary Club=2
- 16-Nagoya Meihoku Rotary Club=2
- 17-Nagoya Chikusa Rotary Club=2
- 18-Nagoya Higashiyama Rotary Club = 2



Romdang Village

- Pump Wells = 7

12-Nagoya Meinan Rotary Club=1

15-Nagoya Wago Rotary Club=1

19-Nagoya Aoi Rotary Club=1

20 -Toyohashi East Rotary Club=1 Toilet

21-Toyota Rotary Club=1

22-Kariya Rotary Club=1

24-Donors at World Food and Fure-i
Festa 2014 =1

- Toilet =12

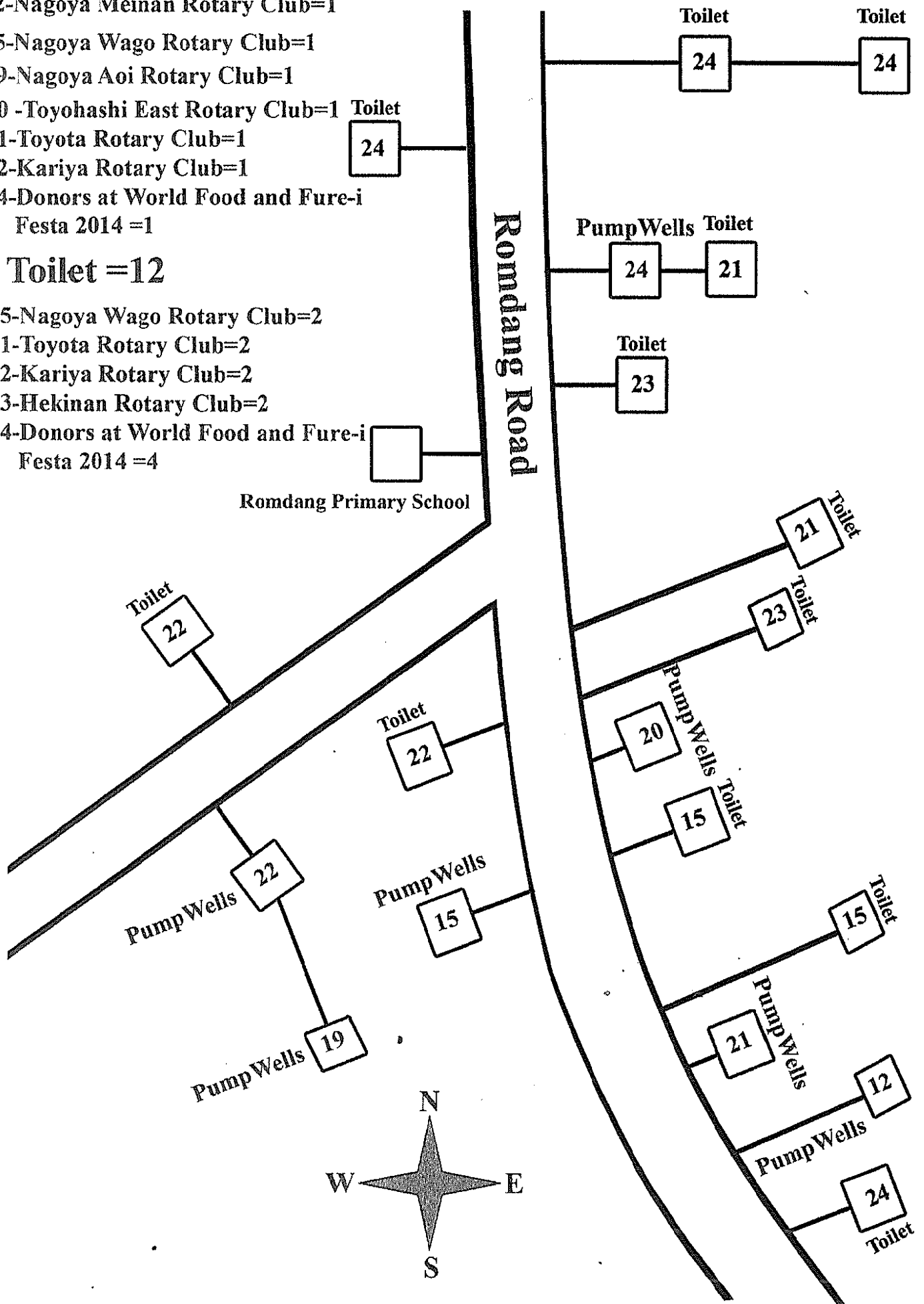
15-Nagoya Wago Rotary Club=2

21-Toyota Rotary Club=2

22-Kariya Rotary Club=2

23-Hekinan Rotary Club=2

24-Donors at World Food and Fure-i
Festa 2014 =4



2014-15 年度 RI-2760 地区国際奉仕委員会 PJ 活動報告

国際奉仕委員長 杉浦敏夫

2015年6月8日(月曜日)午前8時、第2回ワールド・フード・ふれ愛フェスタ実行委員



会竜橋実行委員長(広報委員会)、福田副実行委員長夫妻(VTT 委員会)、鈴木実行委員(社会奉仕委員会)、杉浦実行委員(国際奉仕委員会)、地区国際奉仕委員会堀江副委員長、本間委員、岡部委員、横田委員、山田委員、

平野次期委員の総勢11名でカンボジアの Siem Reap, Angkor Century Hotel に集合し2台の1ボックス車に分乗し出掛けました。約1時間半走行後、Lovea 村小学校に到着し、10時半から譲渡式が行われました。

式典内で竜橋 WFF 実行委員長より本年度の WFF の目的達成のための訪問であり、皆さんに喜んで頂いた姿を RI-2760 地区の皆さんに報告をするために訪問した旨をお話しされました。カンボジア赤十字シエムリープ委員長で州知事の奥様の Ms Kouy Naline からのご挨拶と感謝状を頂きました。

現地にてご尽力を頂いた元アンコール RC 会員の Ms Irene Wong さんにもカンボジア赤十字と我が RID2760 からも感謝状をお渡ししました。式典終了後、持参の雨や T シャツ、ご準備頂いた



学用品や制服を皆で手分けをして配布し、一旦昼食へ、午後からは3つの村に3グループに分かれ地区プロジェクトに一任頂いた各クラブからのご浄財を金額に応じてトイレ40ヶ所や井戸17ヶ所の建設費に充てさせて頂いたのでそれぞれの写真を撮影し手分けして向かいました。それぞれに受け持った施設の写真を徒歩で渡り歩き気温40度の炎天下の下、約1時間半ほどで済む事なのですが私の思いとしては、本当にその場で倒れてしまうのではないかとと思うほど辛かったです。

恐らく各々のメンバーはそう思われたのではないかと思います。写真の撮影を終えて一旦ホテルで休憩後、Ms Irene さんのご手配の下、打ち上げ食事会を開催しお開きしました。

補足として地区国際奉仕委員会の坂倉委員には当初より Ms Irene さんと接触をして頂き詳細の打ち合わせまで丁寧な準備を頂きましたが、彼のカンボジアへの飛行機がフライトキャンセルになり、翌日違うルート経由でカンボジアに来る予定が乗り継ぎ地で飛行機が遅れ乗り継げず、結局カンボジアに到着したのは打ち上げの食事会場、おまけに飛行場で荷物が出来ず、着替えも無く大変な思いで帰国をしました。坂倉さんそして、ご一緒頂いた皆さん本当にお疲れ様でした。



国際奉仕委員会活動報告

地区国際奉仕委員会 副委員長 堀江英弥

今年度は、地区国際奉仕委員会の活動の一つとして6月6日から5日間でカンボジアのシェリムアップにてアンコール RC のアイリーンさんのご協力を得て、WFF の余剰金と各クラブからの地区委員会に一任いただいた拠出金を活用して井戸17本・トイレ40戸と学用品の寄贈を行いました。

6月6日、広報委員会の籠橋委員長と5名の委員会メンバー計6名で中部国際空港から台北・バンコック経由カンボジアのシェリムアップ空港に到着して、夕刻には職業研修チーム委員会の福田委員長ご夫妻と合流し食事をしながら贈呈式の打合せをして、翌日には社会奉仕委員会の鈴木委員長・豊田東 RC の平野さんと委員会メンバー1名も加わりタイ・ベトナムや中国から到着しました。



8日の午前中に市内から40分ほど離れたロヴェア村小学校での贈呈式にホテルを8時頃2台のワゴン車に分乗して出発、舗装された道から外れるとすぐにひなびた農村地帯に入りしばらく走り式会場の小学校に到着し、多くの小学生や村人の歓迎を受けました。

式典には群長や赤十字支局長の歓迎の言葉に続き、今回の団長を務める籠橋広報委員長の挨拶があり写真の前でテープカットして式典は無事終了しました。その後、いつも感じますがキラキラ輝かせる子供たちに学用品、また、持参した飴を村人たちにも手渡しました。

レストランで昼食を済ませて、3班に分かれ3台の車に乗って点在している寄贈した井戸とトイレを35度を超える猛暑の中を一軒一件確認してホテルに戻りました。

今回も地区の皆様方の好意で無事奉仕活動が出来ましたことに感謝申し上げますと共に次年度もご協力いただきます様お願いします。



2014-15 RI-2760 地区国際奉仕委員会 P J 活動報告

横田 徳久

今回の国際奉仕事業は、カンボジア・シェムリアップでの水支援と教育支援です。

内容は、水支援として、シェムリアップ郊外の 4 つの村（ワナ村、ロベア村、ロムデン村、プレア・アン・トロン村）に、トイレ 40 個、ポンプ式井戸 17 個を設置しました。

また教育支援として、2 つの小学校（プレア・アン・トロン小学校、ロムデン小学校）の子供達に、制服、Tシャツ、文法具一式と飴を支給しました。それらの費用は昨年 11 月の W.F.F. の収益金と、23 ロータリークラブの寄贈金の合計を充てました。

従って、2760 地区国際委員会の今回の目的は、以上の奉仕事業の譲渡式への参加と 4 村に



設置されたトイレ 40 個と井戸 17 個の視察と、また、今回は従来と異なり、各ロータリークラブの寄付高に応じた個数のトイレや井戸に、各 R.C. の名前を記したプレートや看板を取り付け、寄付の使い道を明確にしたので、その確認でした。

2015 年 6 月 8 日役員、奉仕委員総勢 11 名で、シェムリアップのホテルを午前 8 時に 2 台の車で出発し、約 1 時間半かけて譲渡式の開かれるロベア村小学校に到着。すでに大きなテント内には子供達や、多くの一般の人達の代表者が着席し、10 時より譲渡式が行われました。

現地関係者の感謝の挨拶が続く中、州知事夫人でシェムリアップ赤十字支部長が、感謝の辞を述べられました。



それに答え、2760 地区竜橋 W.F.F. 実行委員長が、現地の方々に喜んで頂いた姿を、RI-2760 地区の皆様にお伝えする旨を話されました。その後、感謝状や贈り物など、RI-2760 地区と現地関係者の間で労をねぎらい合いました。会場の後部に飾られた現国王陛下ご夫妻の写真が、終始を見守っている様でした。

式典後、多くの子供達に飴（中央に日の丸・Rotary の文字、周りはカンボジア国旗の色）、文法具一式や Tシャツなどを手渡し、どの子供達も手を合わせ、笑顔で受け取る時の目の輝きに感動しました。午後から、現地の方 2 名と奉仕委員 2 名が一組になって、4 班に分かれ、広い範囲に点在するトイレや井戸を見て回り、それ

ぞれに各ロータリークラブの名がプレートに記されており、今回この様に浄財金が目に見える形で使い道を記した事を目の当りにし、ここでも感動しました。



こうして、“国際奉仕事業は綿密な計画の基に準備され、多くの人々によって成し遂げられ、我々奉仕委員により最後を見届ける。人の喜びは自分の喜びである。身体は疲れても、又奉仕事業に参加したくなる。”
何とも清々しい気持ちで帰国の途に着きました。



カンボジア水資源及び教育支援事業（WFF 及び地区 PJ 一任事業）
参加者及び協力者の皆さん（2015 年 6 月 8 日シエムリープにて）

【 編集後記 】

本報告書の編纂を持って 2014-15 年度 RID2760 国際奉仕委員会の事業が全て終える事ができます。既に 2015-16 年度の第 1 回委員会もスタートをしており複雑な思いで校正編集をしています。本報告書の 1 ページ毎に 1 年間の活動記録があり、当委員会の歴史でもあります。

1 年目の委員の皆さんにはもう少しのんびりとしている委員会と思われ出向されたのではないかと思います。しかし、本当に真面目にしなければならない事を討論、議論しながら事業をつくり、実行し、最後報告書まで作成し、しっかりと完結をして行く。海外事業では打合せも頻繁にする事もできませんし、わずかな打ち合わせ訪問で全てを決めて来れるように、漏れの無いように打合せ内容を議論をして出掛けなければなりません。大変ですが私は本当にやりがいのある委員会だと自負しています。

もし、本報告書を最後までお読み頂き当国際奉仕委員会に興味をお持ちのロータリアンは是非一度、委員会に遊びに来て下さる事を期待申し上げます。本年度で陽委員会を卒業された皆さんには大変お疲れ様でした。引き続き次年度も一緒に委員会活動をして頂ける皆さんには次年度も宜しく願いを申し上げます。又、ご協力頂いた全ての皆さんに感謝申し上げます。編集後記とします。

2014-15 年度地区国際奉仕委員会 委員長 杉浦 敏夫